

# D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社（証券コード：6534）

## 2017年3月期決算説明会

2017年5月11日

▼ D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 コーポレートサイト

<https://www.dac-holdings.co.jp/>

▼ IRニュースメール配信登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>

- **2017年3月期 決算概要**
- **子会社の状況**
- **広告事業の動向**
- **2018年3月期方針**

<会社名略称>

DACHD : D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

DAC : デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

アイレップ : 株式会社アイレップ

※ 当社の設立は2016年10月ですが、2017年3月期は2016年4月～2017年3月を決算期とし、2016年9月までの実績はDAC連結実績（アイレップ連結を含む）で集計しております。

# 連結決算概要

---

## 2017年3月期本決算のポイント

---

- **売上高は1,847億円、営業利益は69億28百万円とそれぞれ2ケタの増収増益を達成。**  
(売上前年比 **27.5%増**、営業利益前年比 **36.9%増**)
- 2月開示の業績予想に対し、**営業利益は上方修正。**
- DAC関連会社株式の評価損として、営業外費用29億円を計上。  
経常利益および親会社株式に帰属する当期純利益は下方修正。
- **今期の配当予想は15円とし、前期より増配。**  
(前期配当実績：DAC 12円、アイレップ 1.5円)
- アイレップは決算期変更に伴い、15ヶ月の変則決算。

# 連結決算ハイライト

(百万円)

	2017年3月期 4Q			
	四半期 (2017/1~2017/3)		累計 (2016/4~2017/3)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	58,541	141.1%	184,779	127.5%
売上総利益	8,845	158.3%	26,409	128.5%
営業利益	2,475	191.3%	6,928	136.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△1,718	—	209	10.3%

DAC関連会社株式の評価損として、営業外費用29億円を計上

EBITDA	2,810	178.9%	8,021	133.8%
OM率※	28.0%	+4.8pt	26.2%	+1.6pt

※ オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

## 通期業績予想と増減率

(百万円)

	2017年3月期 (2016/4~2017/3)		
	通期業績予想 (2017/2/3公表)	通期実績 (2016/4~2017/3)	増減率
売上高	170,000	184,779	+8.7%
営業利益	5,100	6,928	+35.9%
経常利益	5,000	3,728	△25.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,550	209	△91.8%
1株当たり 当期純利益 ※	43.71円	3.92円	—

※ 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の発行済株式総数をもとに算定

# D.A.コンソーシアムホールディングスの事業領域

グループ戦略統括

D.A.Consortium holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

東証第二部上場

- 子会社等の経営管理
- テクノロジー & データ戦略
- R&D
- グローバル戦略

インターネット関連事業

パートナービジネス

<DACグループ>



- メディアサービス
  - ・メディアレップ事業
  - ・広告取引事業
  - ・オペレーション事業
- ソリューションサービス
  - ・テクノロジー事業
  - ・制作事業
  - ・スマホコンテンツ事業

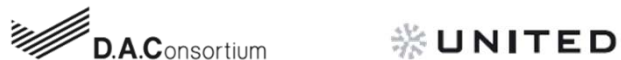
クライアントビジネス

<IREPグループ>



- ・ 広告代理事業
- ・ ソリューション事業
- ・ ツール事業
- ・ デジタルメディア事業 他

インベストメント事業

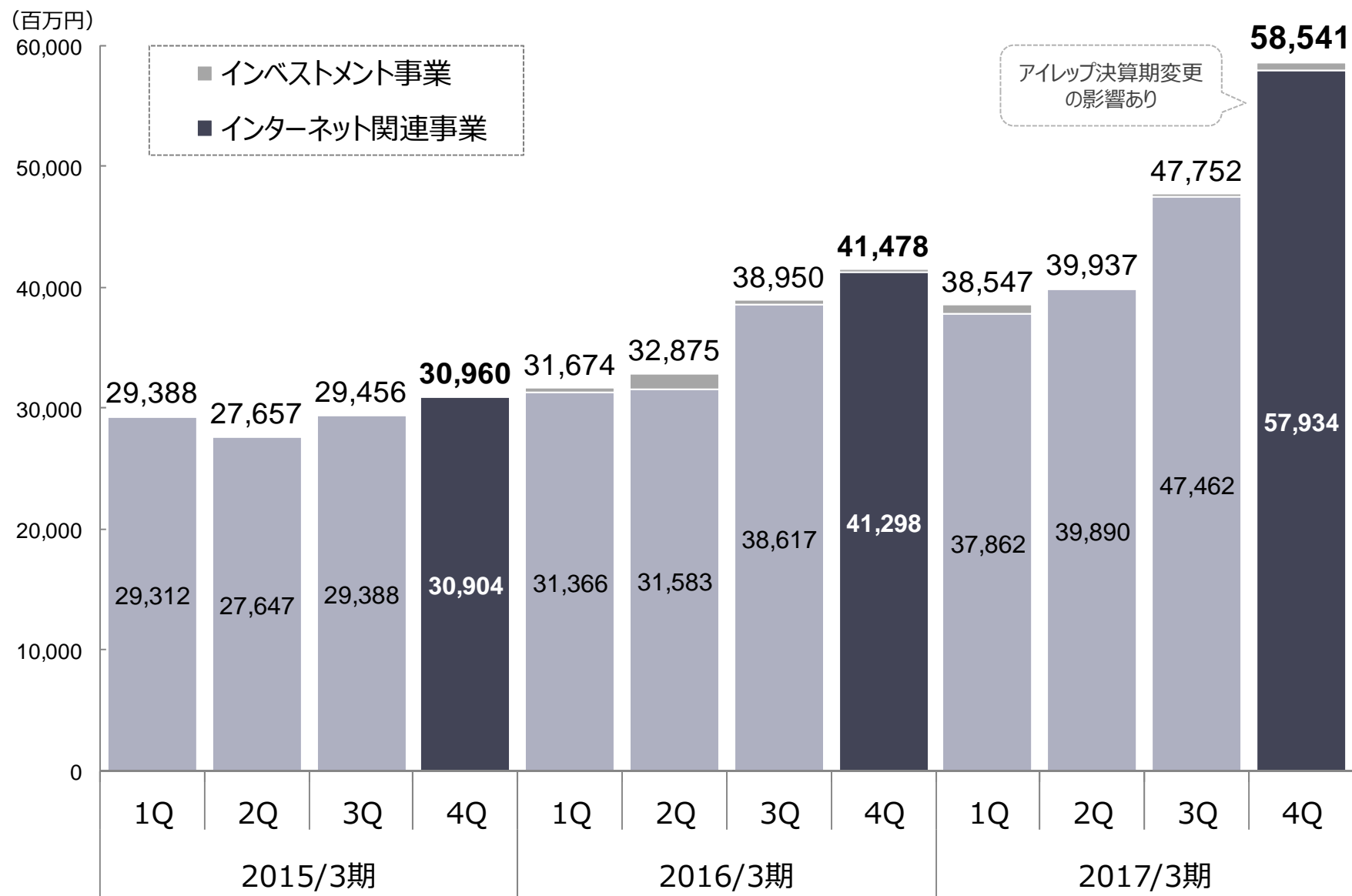


## 事業領域別の状況

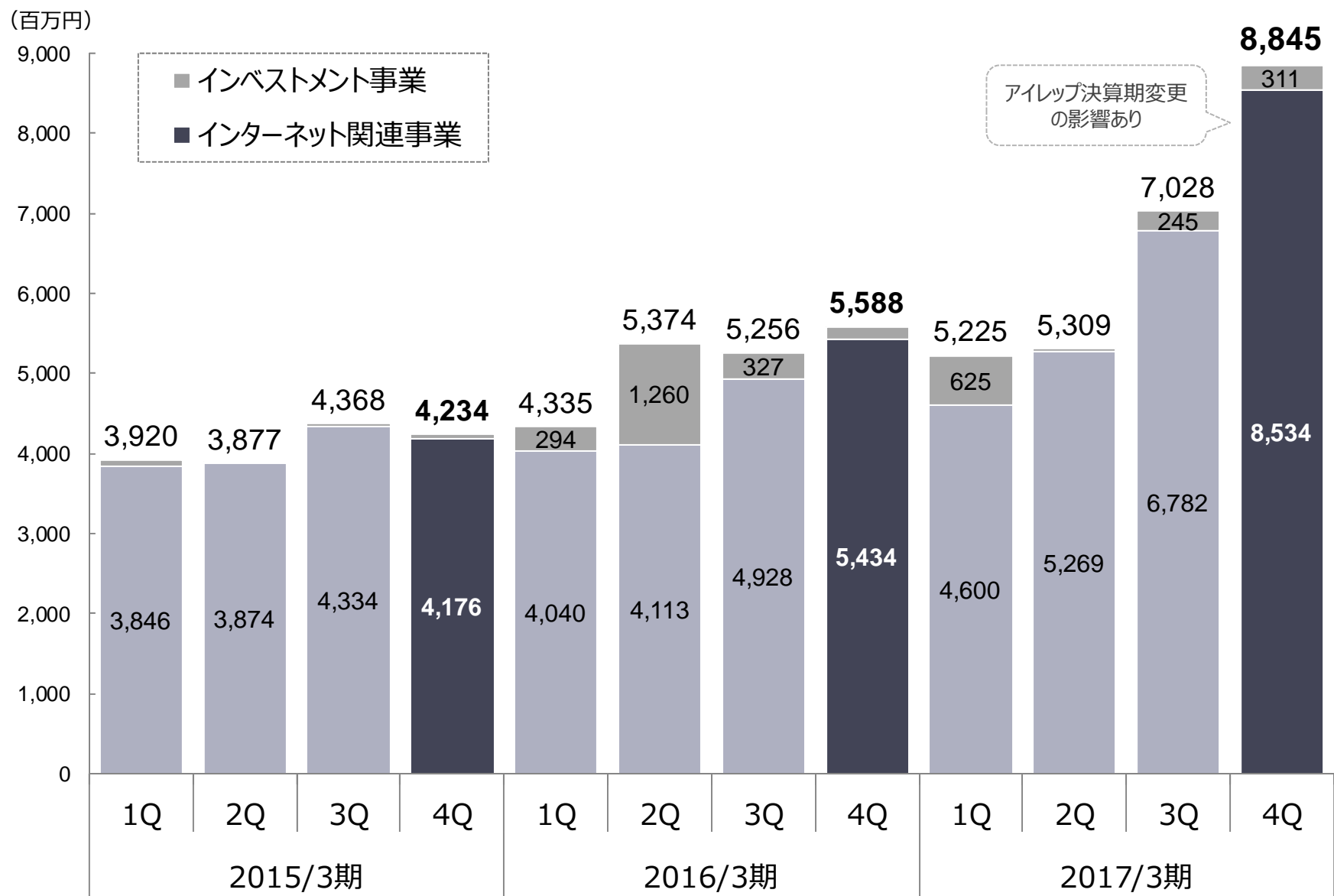
売上高	2016年3月期 累計 (2015/4~2016/3)		2017年3月期 累計 (2016/4~2017/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
<b>インターネット関連事業</b>	<b>142,866</b>	<b>98.5</b>	<b>183,149</b>	<b>99.1</b>	<b>128.2</b>
<b>パートナービジネス</b>	<b>111,543</b>	<b>76.9</b>	<b>133,836</b>	<b>72.4</b>	<b>120.0</b>
メディアサービス	101,157	69.8	118,910	64.4	117.5
ソリューションサービス	10,385	7.2	14,925	8.1	143.7
<b>クライアントビジネス</b>	<b>31,322</b>	<b>21.6</b>	<b>49,313</b>	<b>26.7</b>	<b>157.4</b>
<b>インベストメント事業</b>	<b>2,114</b>	<b>1.5</b>	<b>1,629</b>	<b>0.9</b>	<b>77.1</b>
<b>合計</b>	<b>144,980</b>	<b>100.0</b>	<b>184,779</b>	<b>100.0</b>	<b>127.5</b>
売上総利益	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
<b>インターネット関連事業</b>	<b>18,517</b>	<b>90.1</b>	<b>25,187</b>	<b>95.4</b>	<b>136.0</b>
<b>パートナービジネス</b>	<b>13,636</b>	<b>66.3</b>	<b>17,087</b>	<b>64.7</b>	<b>125.3</b>
メディアサービス	9,159	44.6	11,215	42.5	122.4
ソリューションサービス	4,476	21.8	5,872	22.2	131.2
<b>クライアントビジネス</b>	<b>4,880</b>	<b>23.7</b>	<b>8,099</b>	<b>30.7</b>	<b>165.9</b>
<b>インベストメント事業</b>	<b>2,037</b>	<b>9.9</b>	<b>1,221</b>	<b>4.6</b>	<b>59.9</b>
<b>合計</b>	<b>20,555</b>	<b>100.0</b>	<b>26,409</b>	<b>100.0</b>	<b>128.5</b>



# 売上高の推移



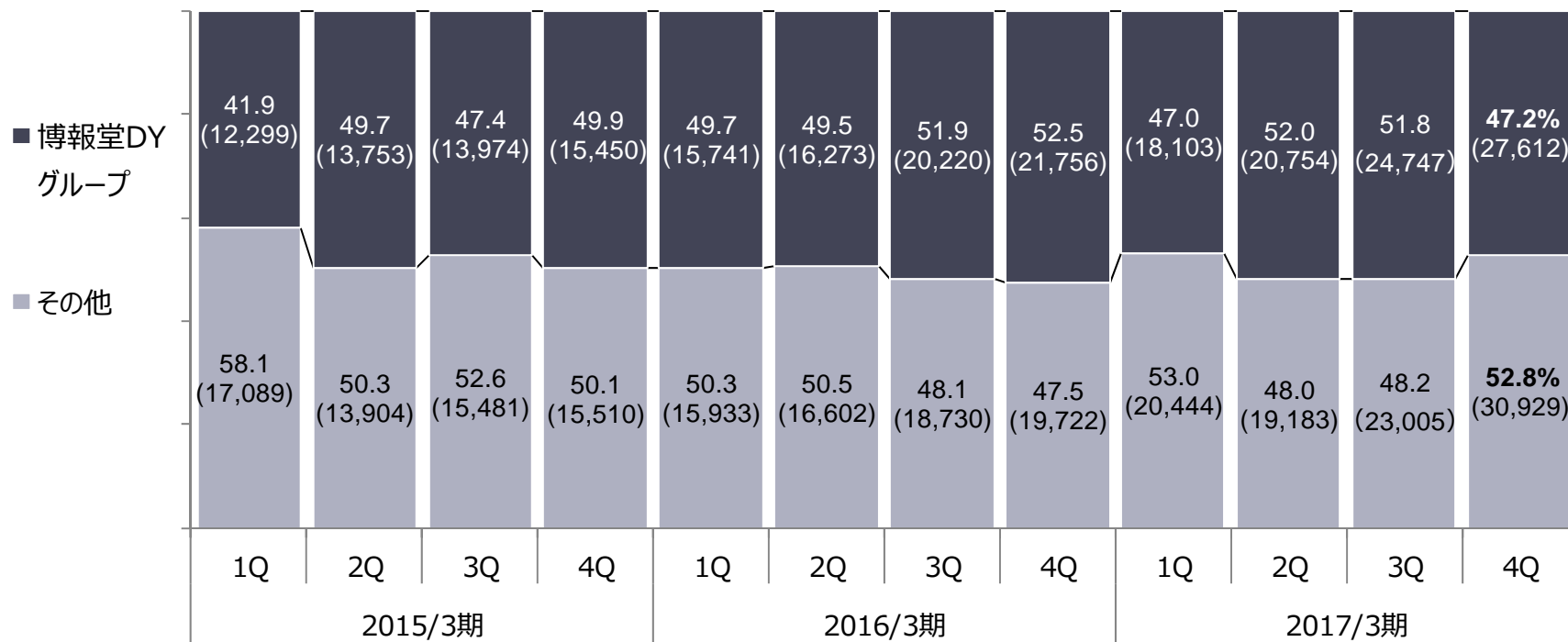
# 売上総利益の推移



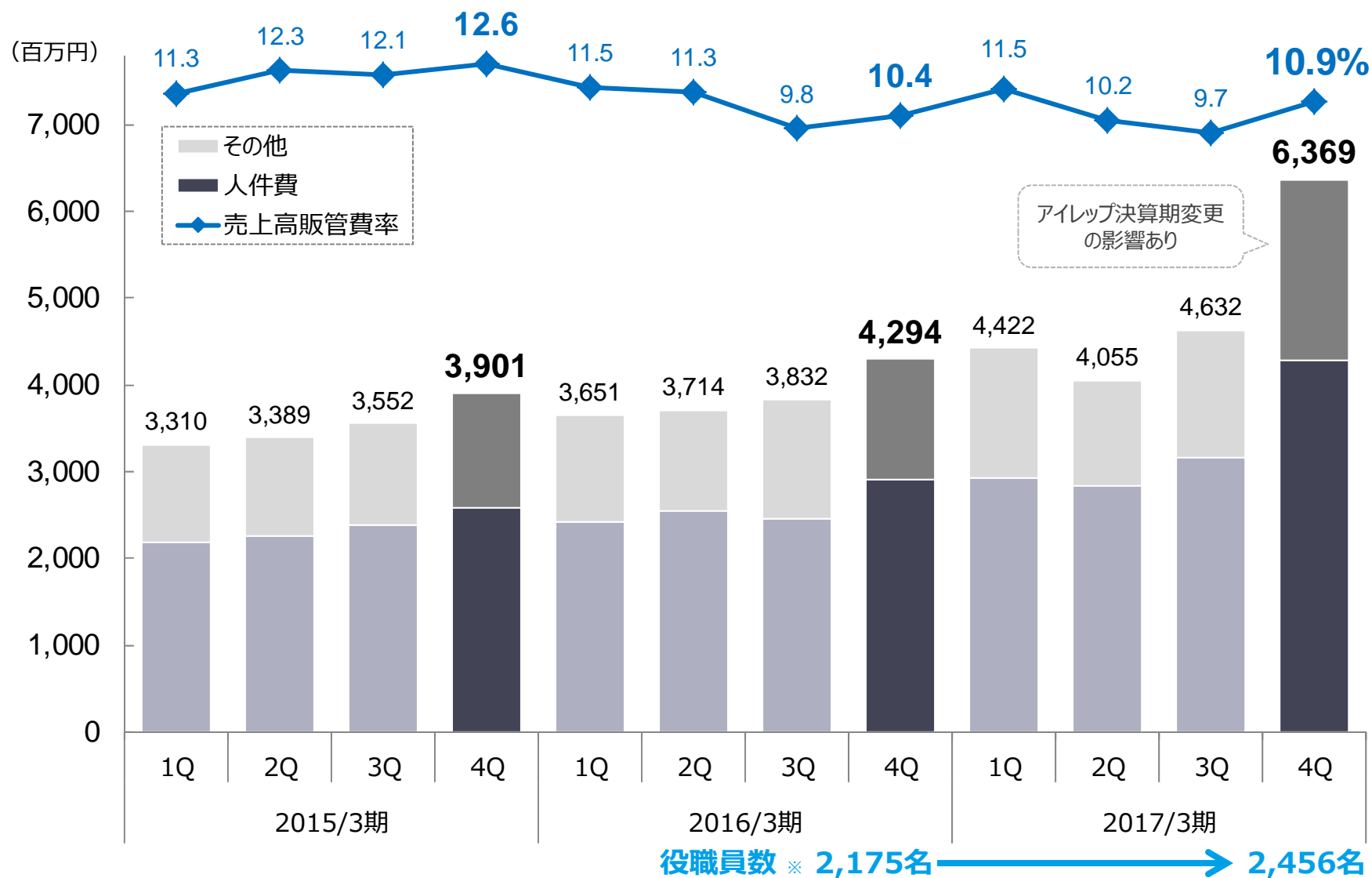
# 広告会社別売上高

	2016年3月期 通期累計 (2015/4~2016/3)		2017年3月期 通期累計 (2016/4~2017/3)		
	金額 (百万円)	百分比	金額 (百万円)	百分比	前年同期比
博報堂D Yグループ	73,992	51.0%	91,217	49.4%	123.3%
その他	70,987	49.0%	93,562	50.6%	131.8%
<b>合計</b>	<b>144,980</b>	<b>100.0%</b>	<b>184,779</b>	<b>100.0%</b>	<b>127.5%</b>

## <四半期推移>

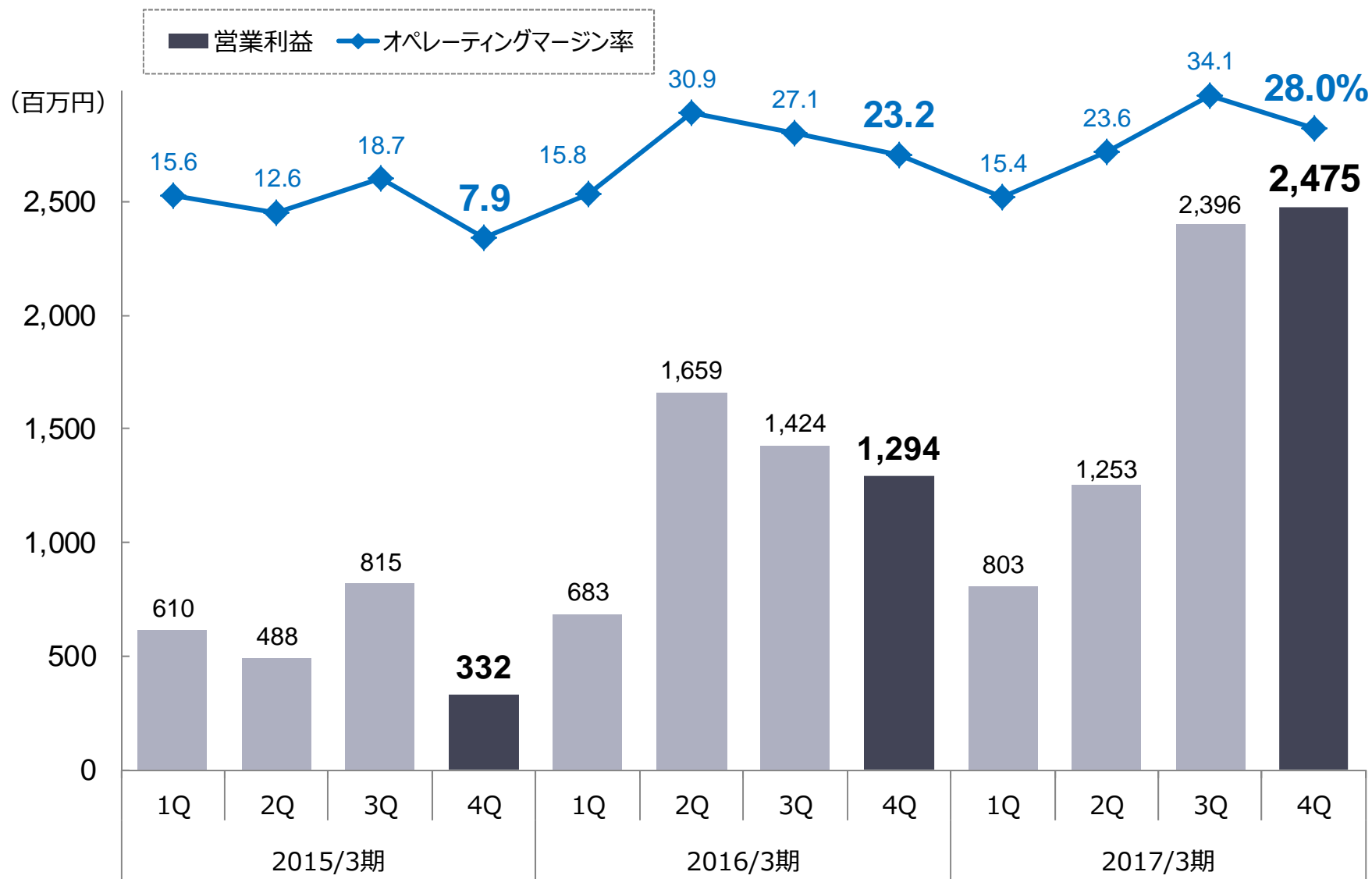


# 販管費の推移

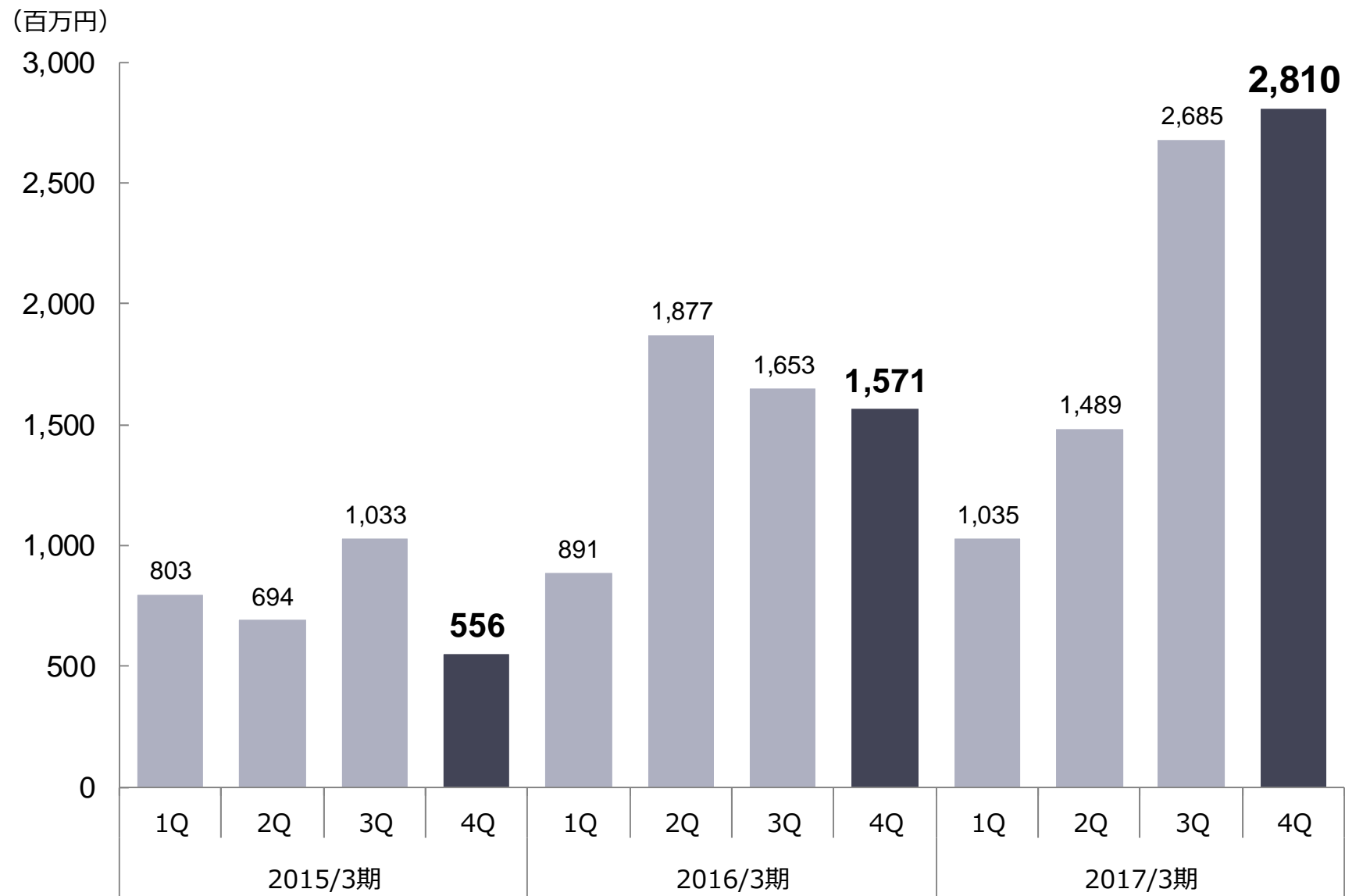


※ 当社ならびに子会社の取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数

# 営業利益の推移



# EBITDAの推移



※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

## 貸借対照表

	2016年3月期末 (2016/3末)		2017年3月期末 (2017/3末)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年期末比 (%)	主な増加/減少要因
流動資産	43,765	80.7	46,504	83.4	106.3	現金の増加
固定資産	10,487	19.3	9,263	16.6	88.3	投資有価証券の減少
<b>資産合計</b>	<b>54,252</b>	<b>100.0</b>	<b>55,768</b>	<b>100.0</b>	<b>102.8</b>	
流動負債	27,562	50.8	28,609	51.3	103.8	買掛金の増加
固定負債	1,252	2.3	1,625	2.9	129.8	長期借入金の増加
<b>負債合計</b>	<b>28,814</b>	<b>53.1</b>	<b>30,234</b>	<b>54.2</b>	<b>104.9</b>	
株主資本	14,388	26.5	16,229	29.1	112.8	
非支配株主持分	8,507	15.7	7,492	13.4	88.1	
その他	2,541	4.7	1,812	3.2	71.3	
<b>純資産合計</b>	<b>25,437</b>	<b>46.9</b>	<b>25,533</b>	<b>45.8</b>	<b>100.4</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>54,252</b>	<b>100.0</b>	<b>55,768</b>	<b>100.0</b>	<b>102.8</b>	

# キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2017年3月期 (2016/4~2017/3)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△145
現金及び現金同等物の増減額	7,471
現金及び現金同等物の期首残高	12,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,114

## ■ 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前当期純利益	3,311百万円
・減価償却費	819百万円
・持分法による投資損益 (△は益)	3,231百万円
・売上債権の増減額 (△は増加)	838百万円
・営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	588百万円
・仕入債務の増減額 (△は減少)	381百万円
・法人税等の支払額	△2,217百万円

## ■ 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

・定期預金の払戻による収入	2,800百万円
・有形固定資産の取得による支出	△261百万円
・無形固定資産の取得による支出	△1,135百万円
・投資有価証券の取得による支出	△1,123百万円
・投資有価証券の売却及び償還による収入	243百万円
・連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得・売却による支出・収入	△748百万円

## ■ 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

・長期借入れによる収入	1,050百万円
・長期借入金の返済による支出	△429百万円
・非支配株主からの払込みによる収入	739百万円
・配当金の支払額 (非支配株主への支払額を含む)	△735百万円



## 2018年3月期通期業績予想

(百万円)

	2017年3月期 (2016/4~2017/3)	2018年3月期 (2017/4~2018/3)	
	実績	予想	前年同期比
売上高	184,779	<b>205,000</b>	<b>110.9%</b>
営業利益	6,928	<b>7,200</b>	<b>103.9%</b>
経常利益	3,728	<b>7,200</b>	<b>193.1%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	209	<b>3,800</b>	<b>18.1倍</b>
1株当たり 当期純利益 ※	3.92円	<b>65.08円</b>	<b>+61.16円</b>

※ 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の発行済株式総数をもとに算定

# 子会社の状況

---

- 売上高・営業利益ともに前年比2ケタ増収・増益を達成
- 関連会社株式の減損処理により、営業外費用29億円を計上したため、経常利益は前年比37.6%
- コミュニケーションメディア・動画広告が引き続き好調に推移

(百万円)

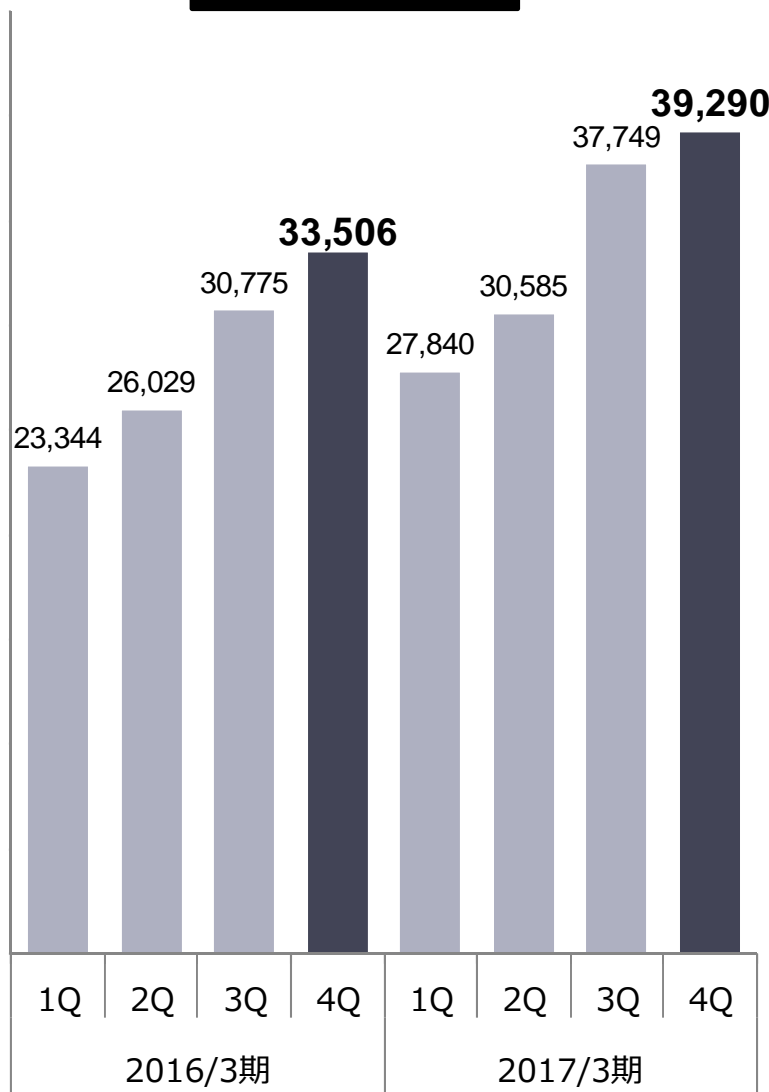
	2016年3月期 通期累計※1 (2015/4~2016/3)	2017年3月期 通期累計※1 (2016/4~2017/3)	
			前年同期比
売上高	113,657	135,465	119.2%
売上総利益	15,674	18,309	116.8%
営業利益	4,187	4,784	114.3%
経常利益	4,086	1,535	37.6%
OM率※2	26.7%	26.1%	△0.6pt

※1 2016年9月以前のアイレップグループ実績とそれに付随する連結調整分を除外

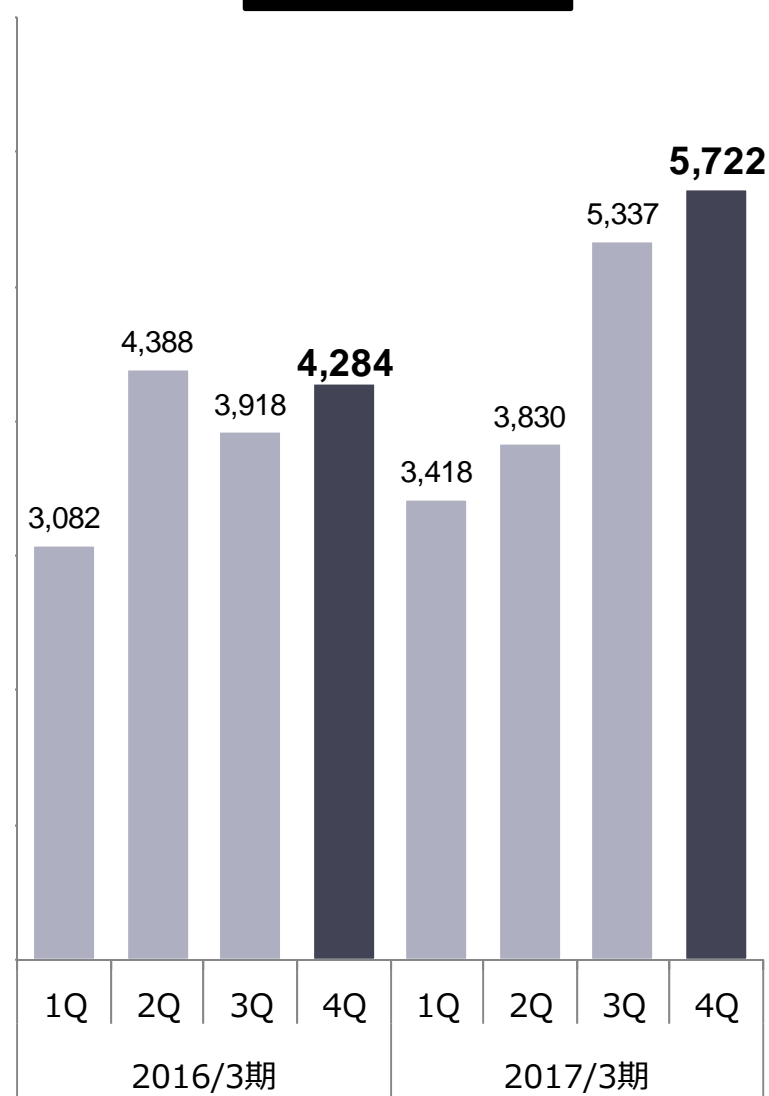
※2 オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

(百万円)

## 売上高

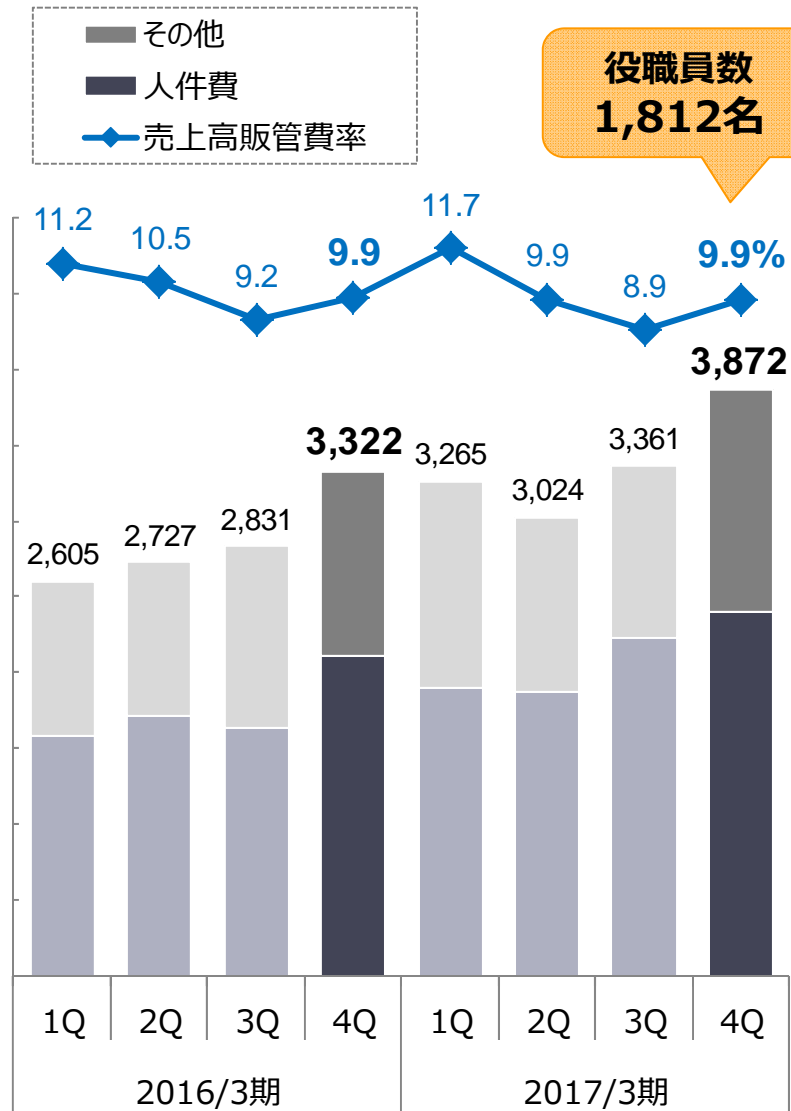


## 売上総利益



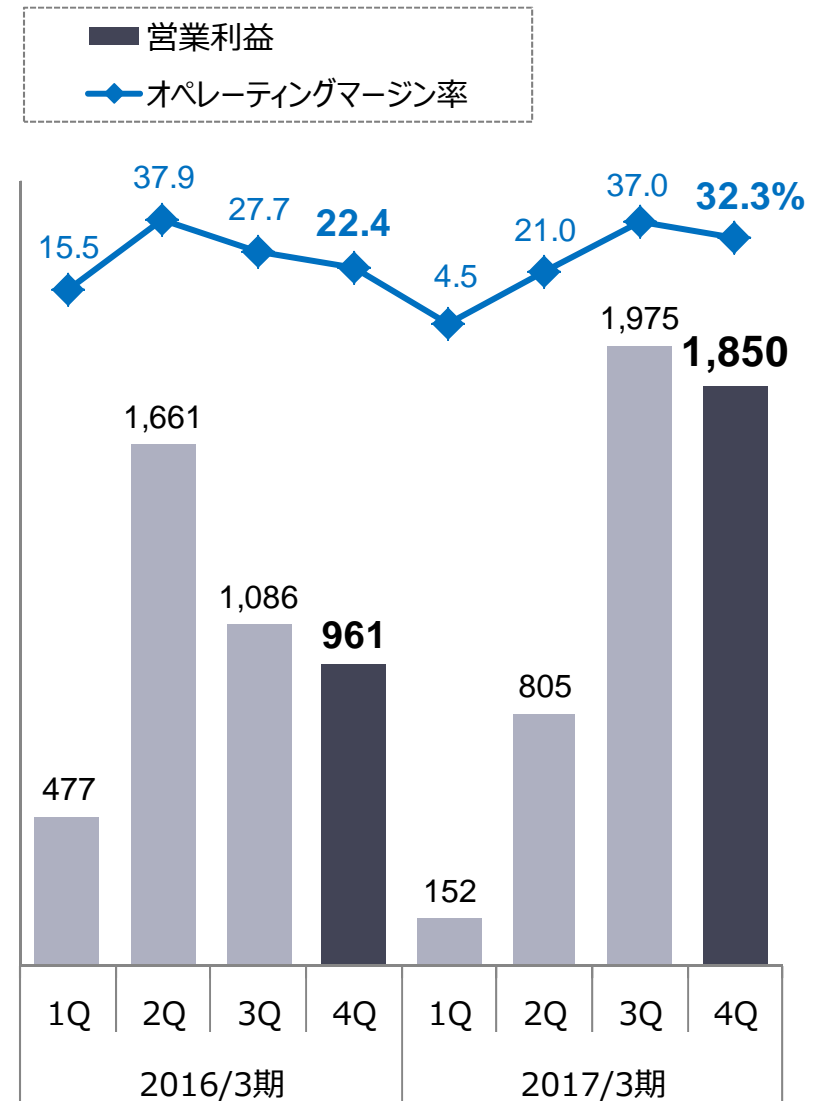
※ 2016年9月以前のアイレップグループ実績とそれに付随する連結調整分を除外

## 販管費











## 営業利益

(百万円)



※ 2016年9月以前のアイレップグループ実績とそれに付随する連結調整分を除外

	2017年3月期4Q		2017年3月期通期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
<b>DACグループ</b>	↗	↗	↗	↗
DAC (単体) 	↗	↗	↗	↗
ユナイテッド 	↗	↗	↗	→
博報堂アイ・スタジオ 	↗	↗	↗	→
プラットフォーム・ワン 	↗	→	↗	→
アド・プロ 	↗	→	↗	↗
トーチライト 	→	↗	→	↗
北京DAC 	↘	↘	↘	↘
DAC ASIA 	↗	→	↗	→

※ 矢印は前年同期実績との比較

- 売上高1,052億円、営業利益24億円と大幅増収増益を達成
- DACとの事業連携により、ソーシャルメディアの取り扱いが大幅拡大
- 決算期を3月に変更したため、2017年3月期は15ヶ月の変則決算

(百万円)

	2016年3月期 通期累計 (2015/1~12) ※1	2017年3月期 通期累計 (2016/1~2017/3) ※1	
			前年同期比
売上高	62,533	105,218	168.3%
売上総利益	5,786	9,587	165.7%
営業利益	1,080	2,443	226.1%
経常利益	1,118	2,517	225.1%
OM率 ※2	18.7%	25.5%	+6.8pt

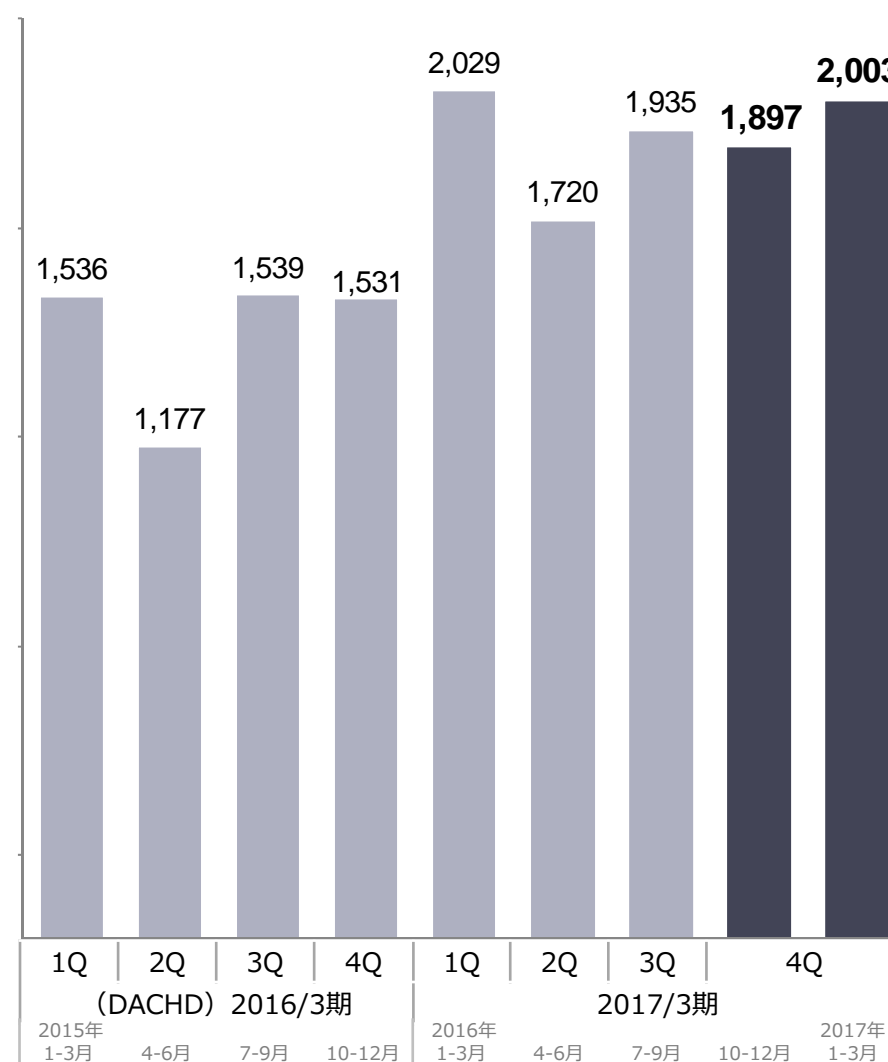
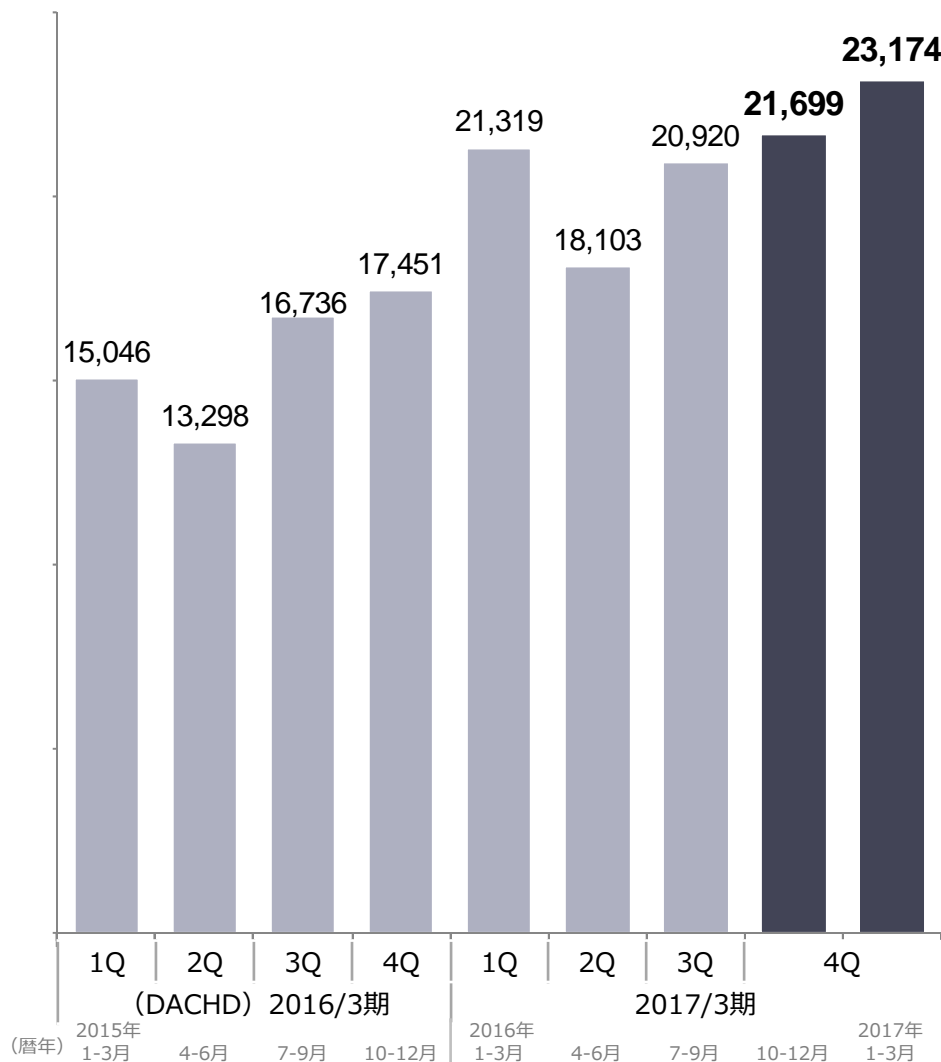
※1 アイレップは9月決算のため、3ヶ月遅れでDACHDに連結取り込み。2017年3月期は決算期変更のため15ヶ月の変則決算。

※2 オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

(百万円)

## 売上高

## 売上総利益



※ アイレップは9月決算のため、3か月遅れでDACHDに連結取り込み



(百万円)

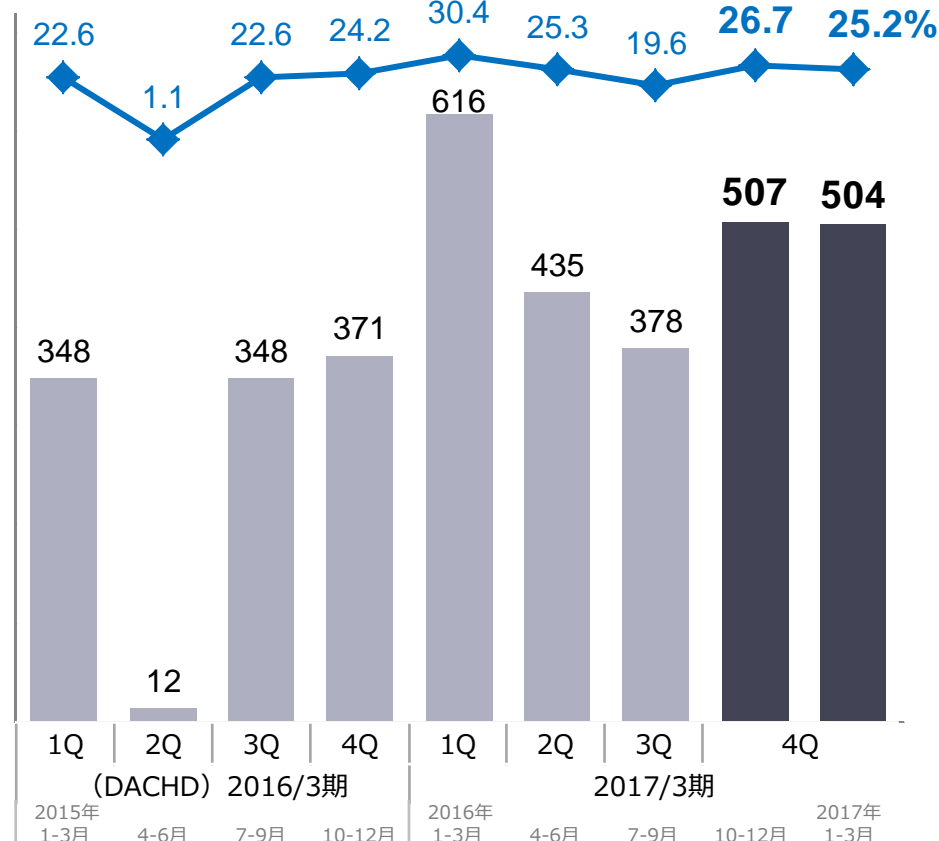
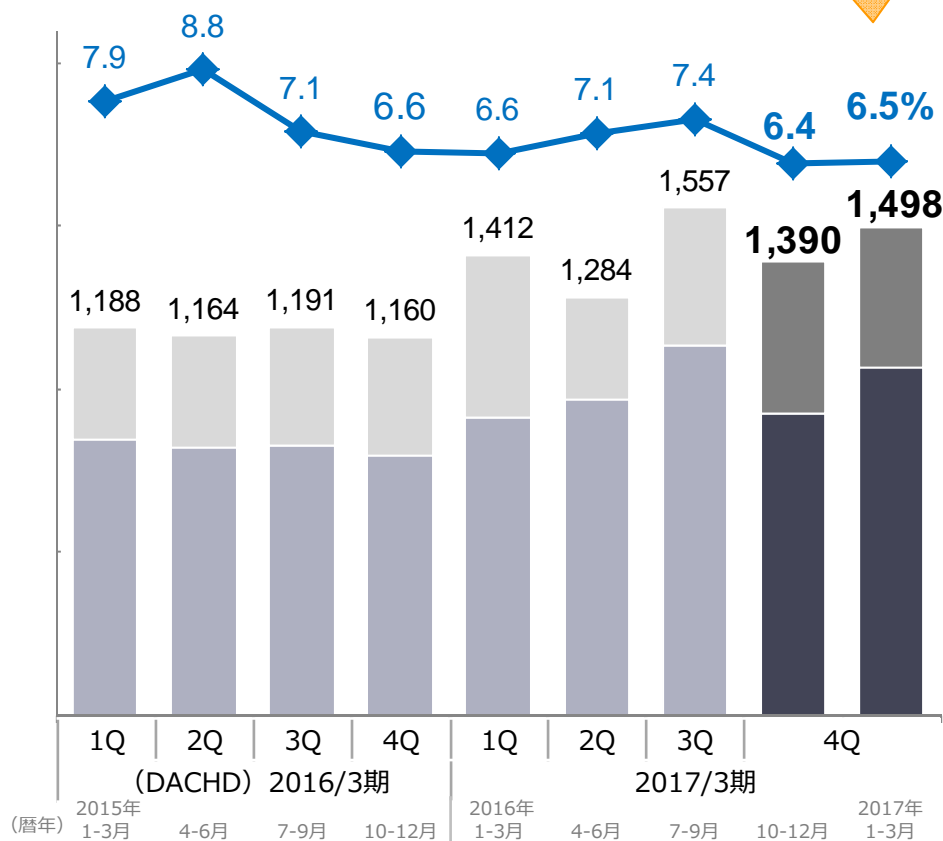
## 販管費

## 営業利益

- その他
- 人件費
- ◆ 売上高販管費率

役職員数  
635名

- 営業利益
- ◆ オペレーティングマージン率



※ アイレップは9月決算のため、3か月遅れでDACHDに連結取り込み

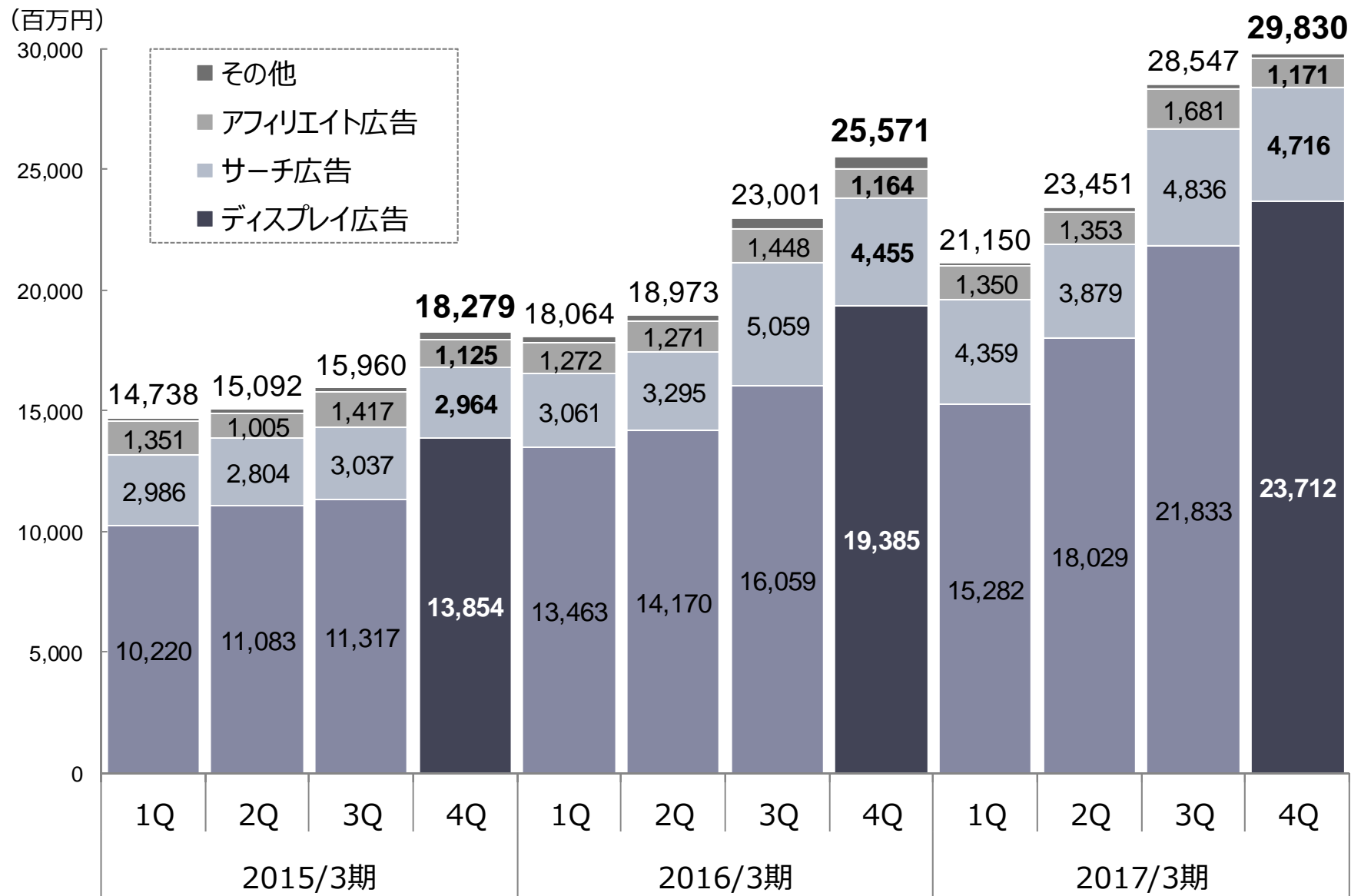
# 広告事業の動向

---

## フォーマット別 売上高 (DAC単体 メディアサービス)

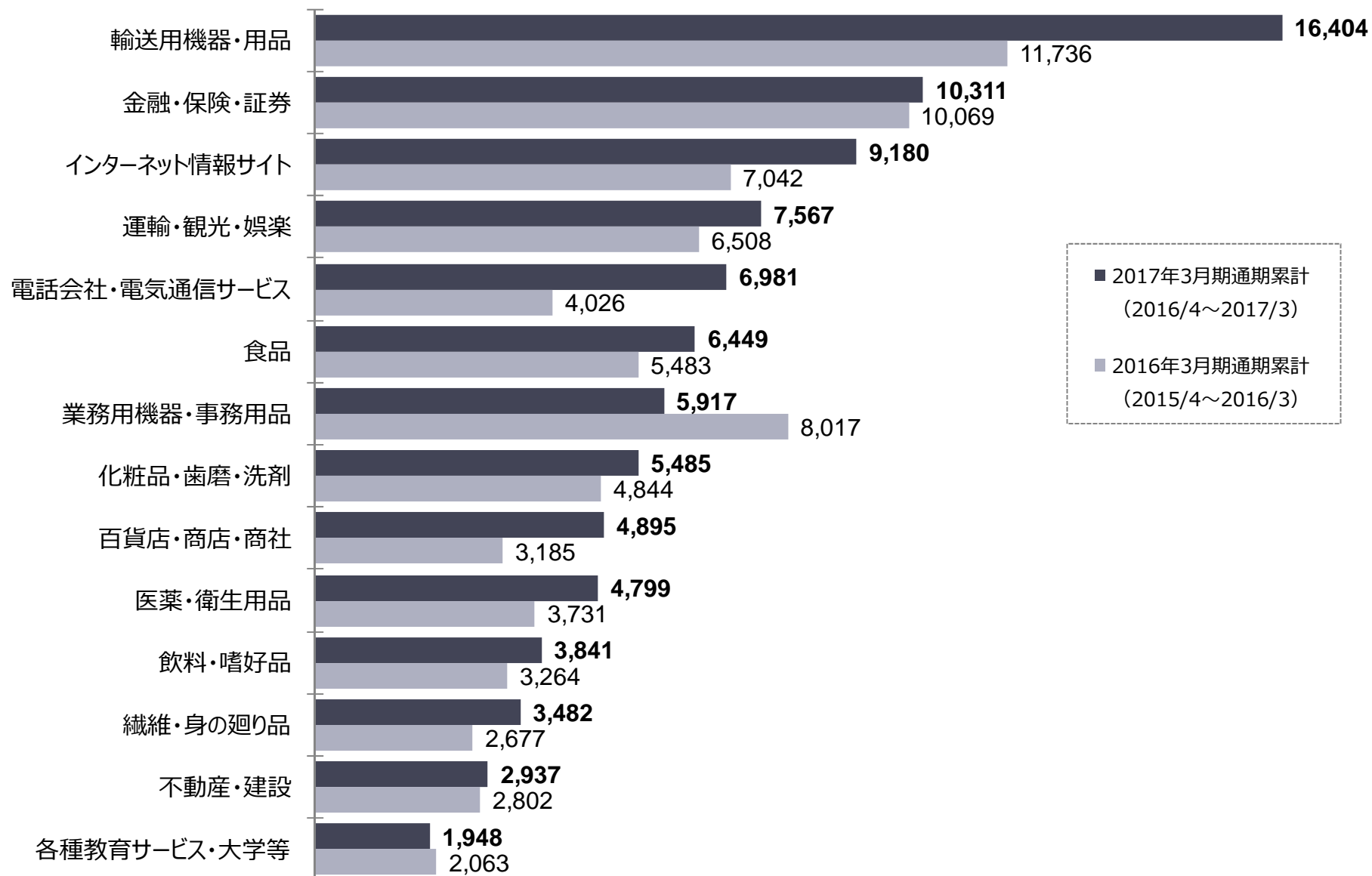
	2016年3月期 通期累計 (2015/4~2016/3)		2017年3月期 通期累計 (2016/4~2017/3)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
ディスプレイ広告	63,079	73.3	78,857	76.6	125.0
動画広告	9,924	11.6	14,373	14.0	144.8
バナー広告・リッチ広告他	53,154	62.1	64,483	62.6	121.3
サーチ広告	15,872	18.5	17,792	17.3	112.1
アフィリエイト・リワード広告	5,156	6.0	5,557	5.4	107.8
その他	1,503	1.8	772	0.8	51.4
<b>合計</b>	<b>85,611</b>	<b>100.0</b>	<b>102,979</b>	<b>100.0</b>	<b>120.3</b>

# フォーマット別売上高推移 (DAC単体 メディアサービス)

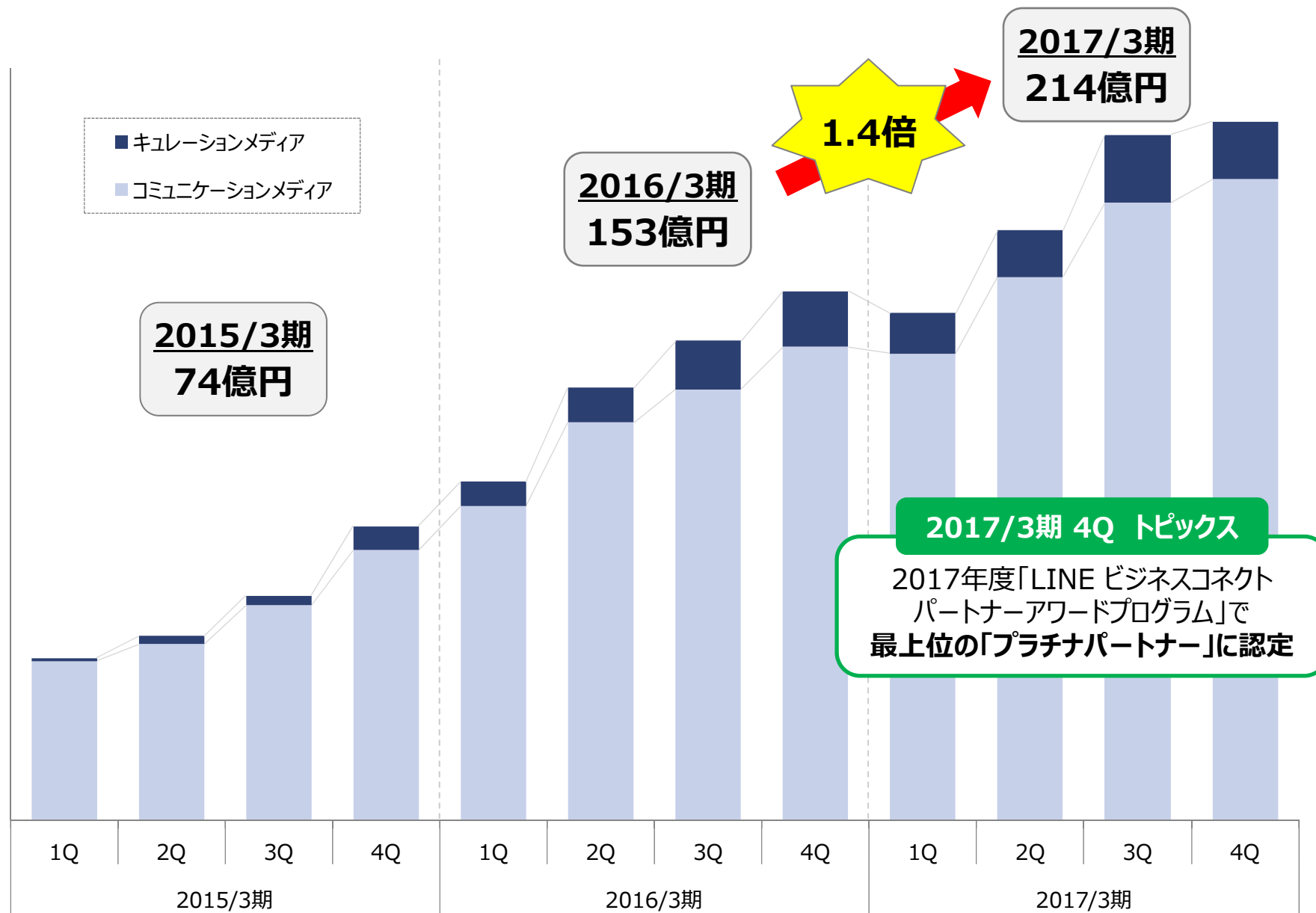


# 業種別売上高 (DAC単体 メディアサービス)

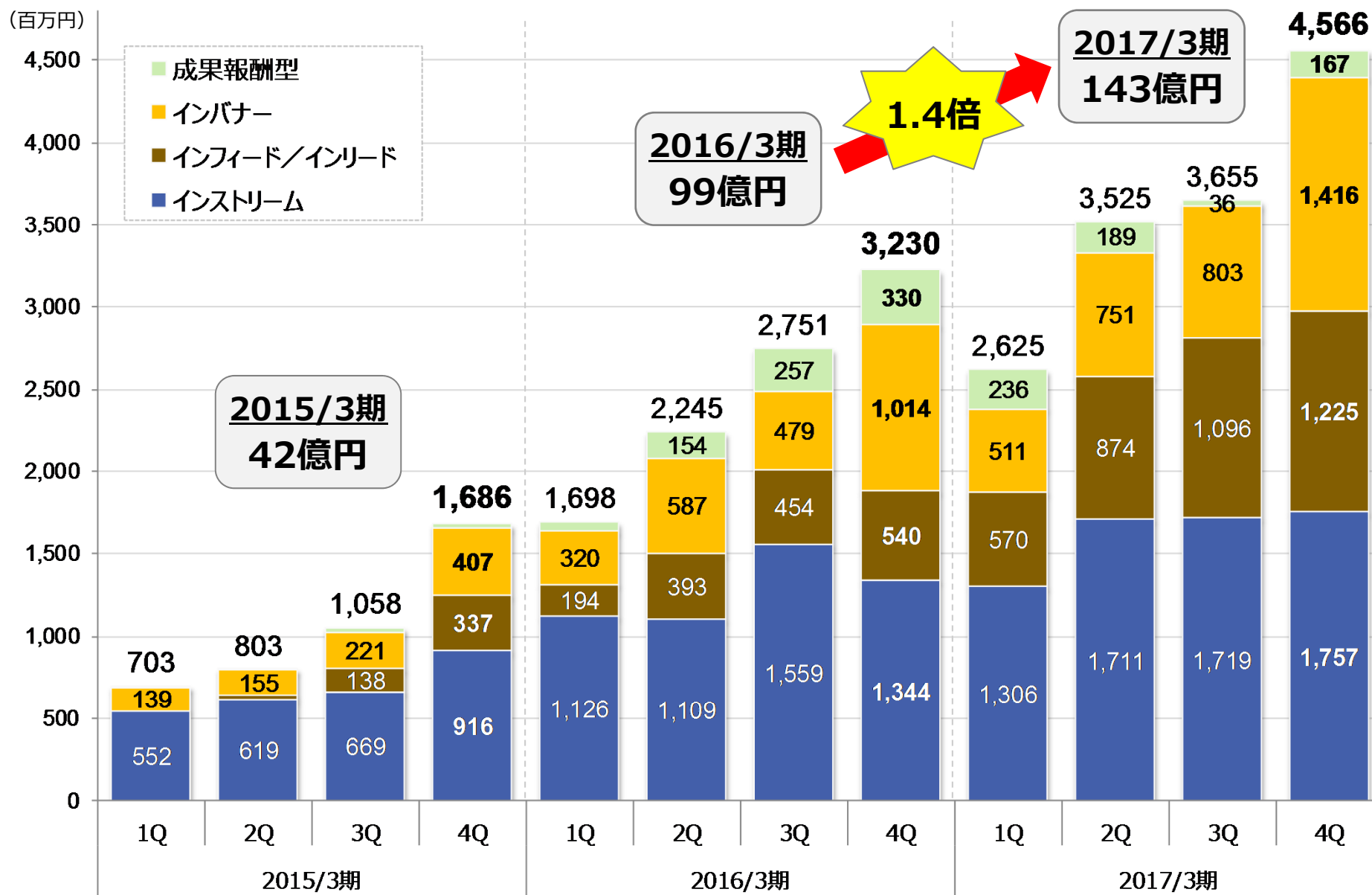
(百万円)



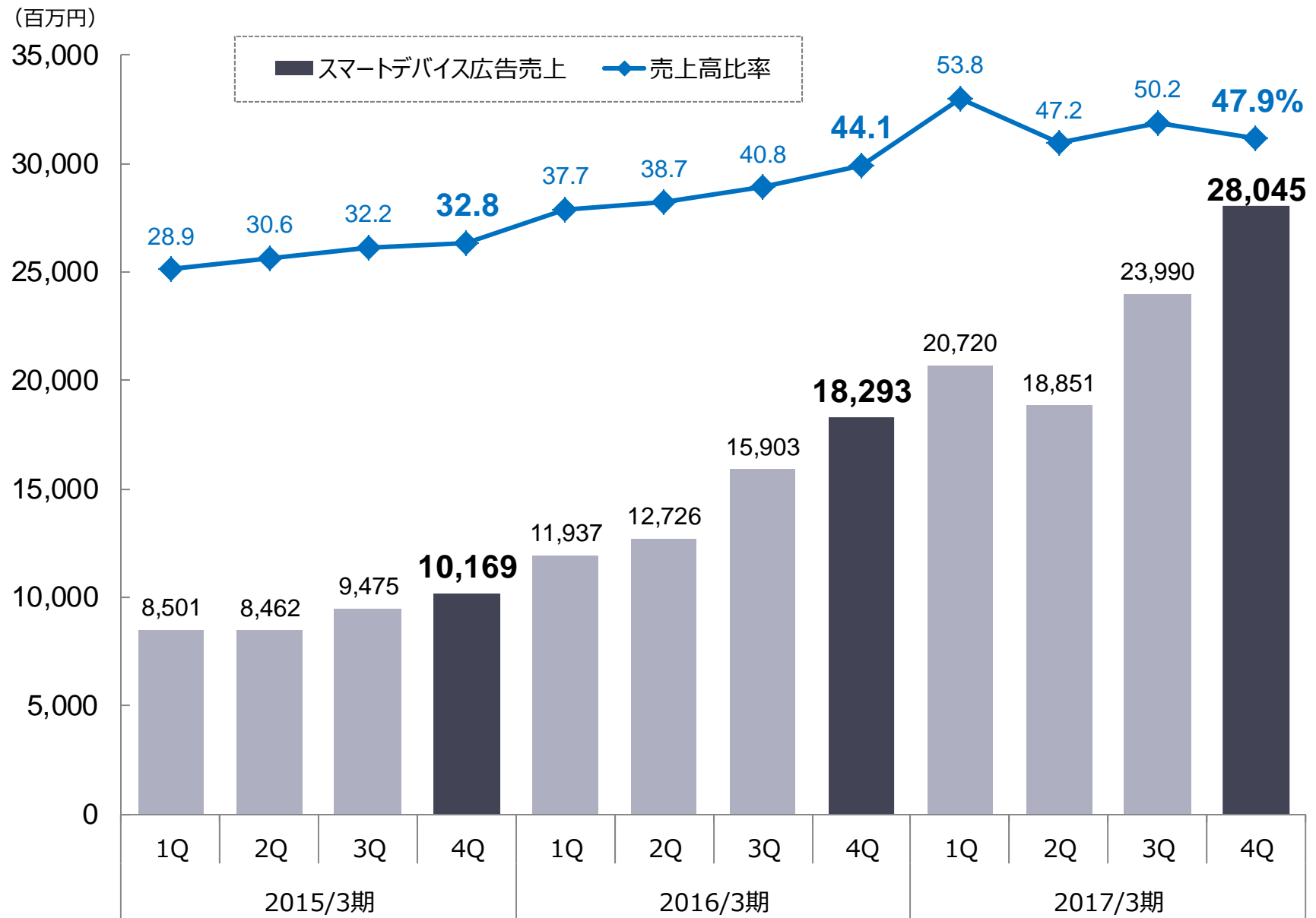
# 注カプレミアムメディア売上高推移 (DAC単体 メディアサービス)



# 動画広告売上高推移 (DAC単体 メディアサービス)

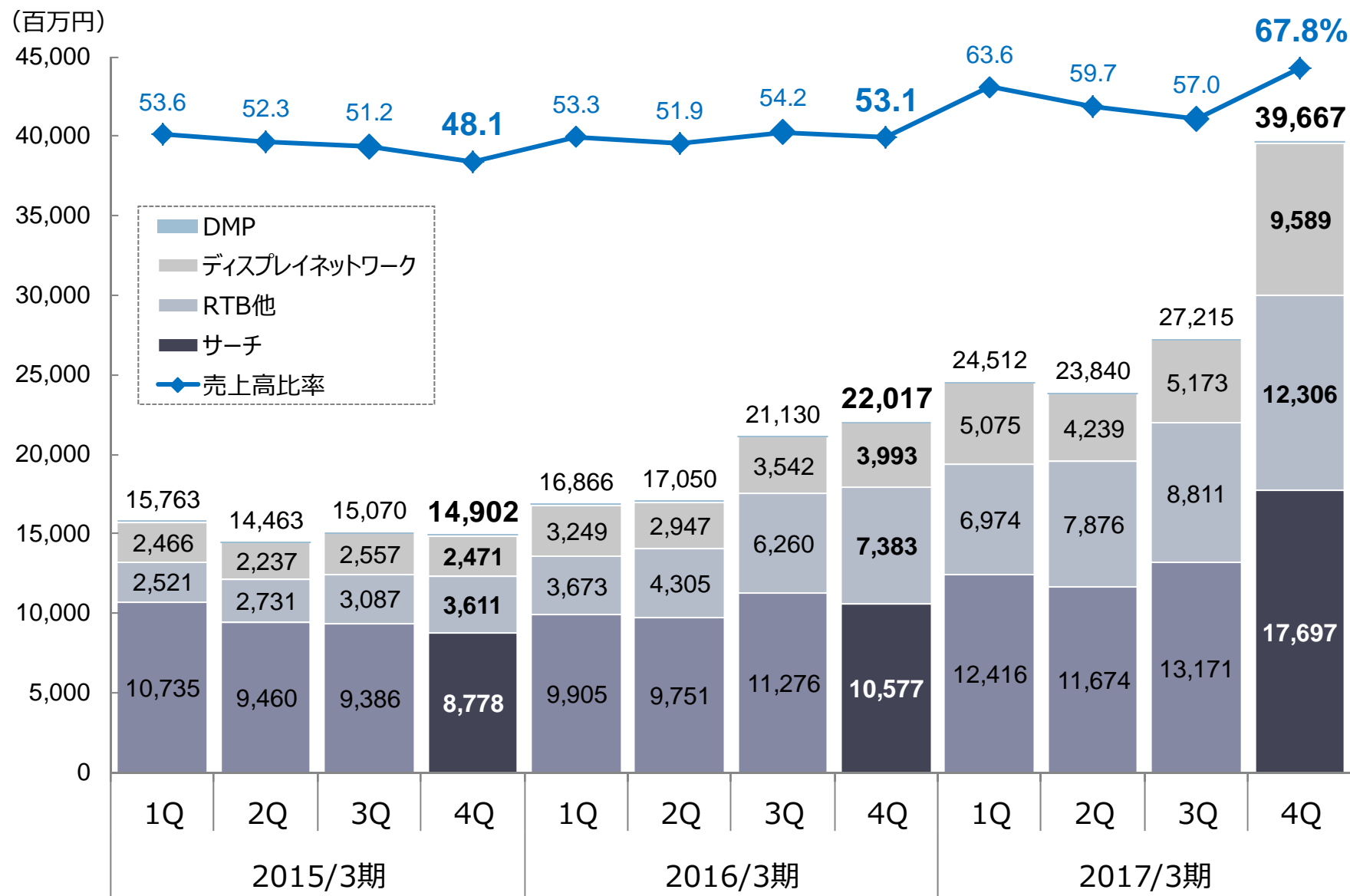


# スマートデバイス広告の売上高推移（DACHD）





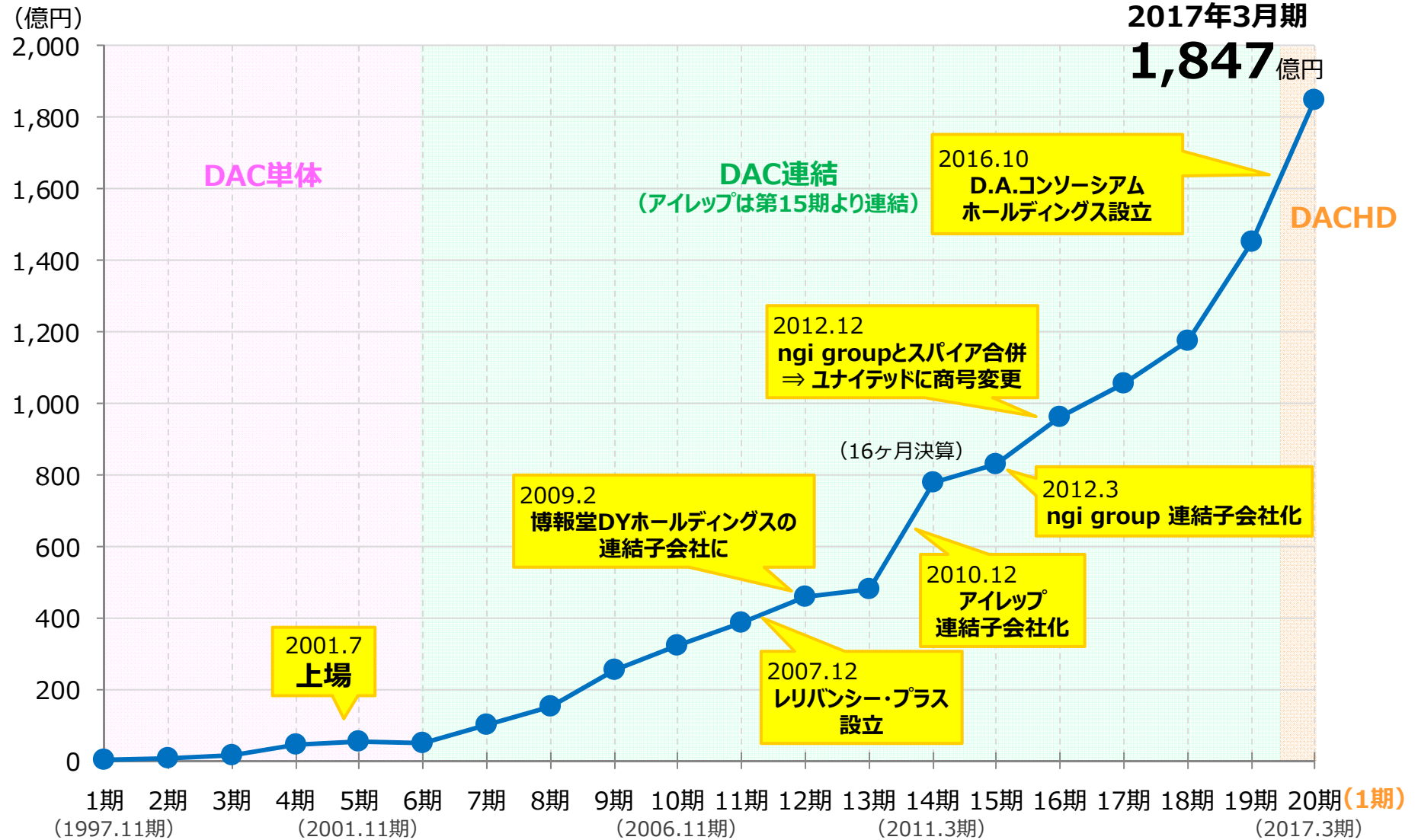
# 運用型広告の売上高推移 (DACHD)



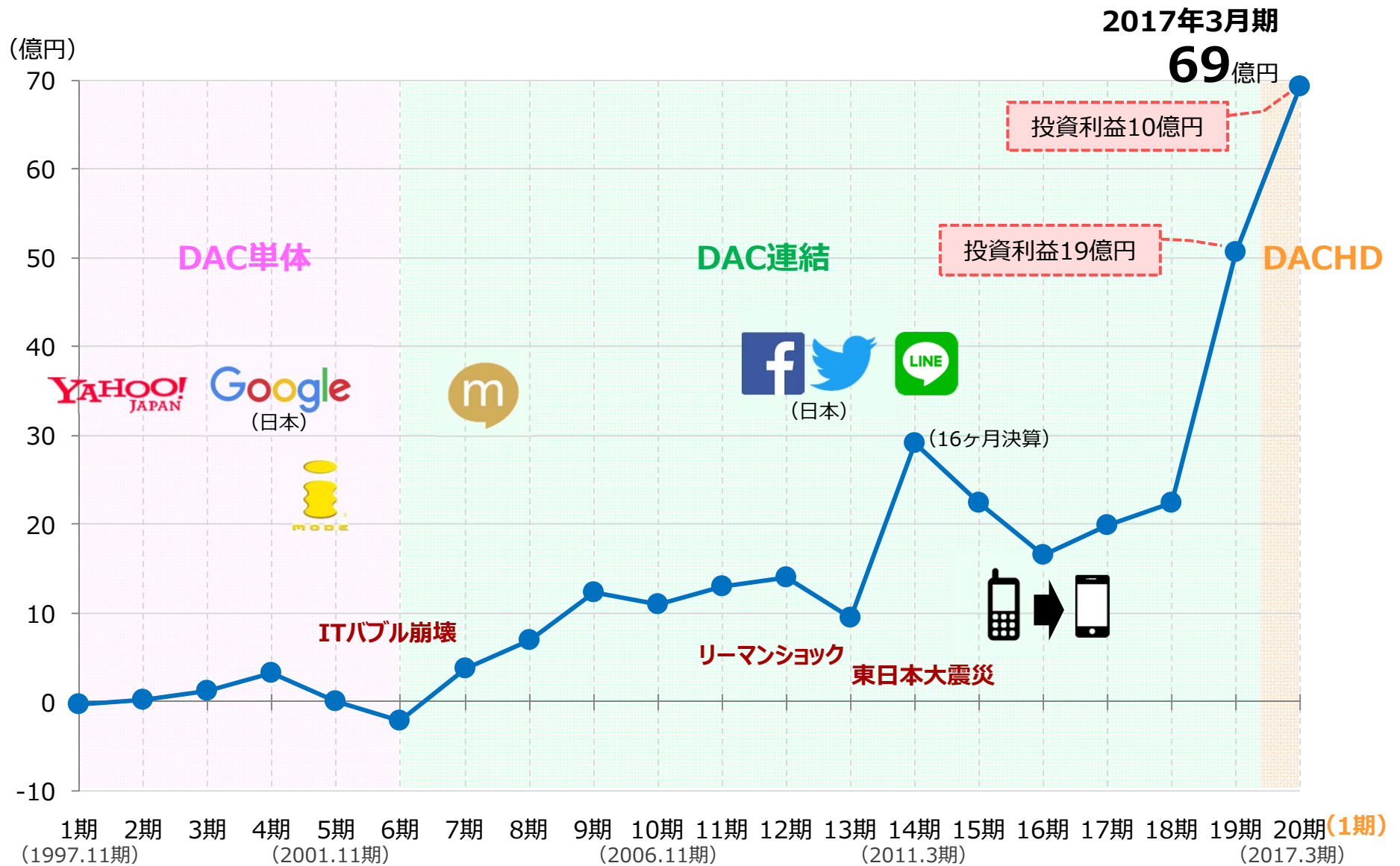
# 2018年3月期方針

---

# DAC設立時からの売上推移

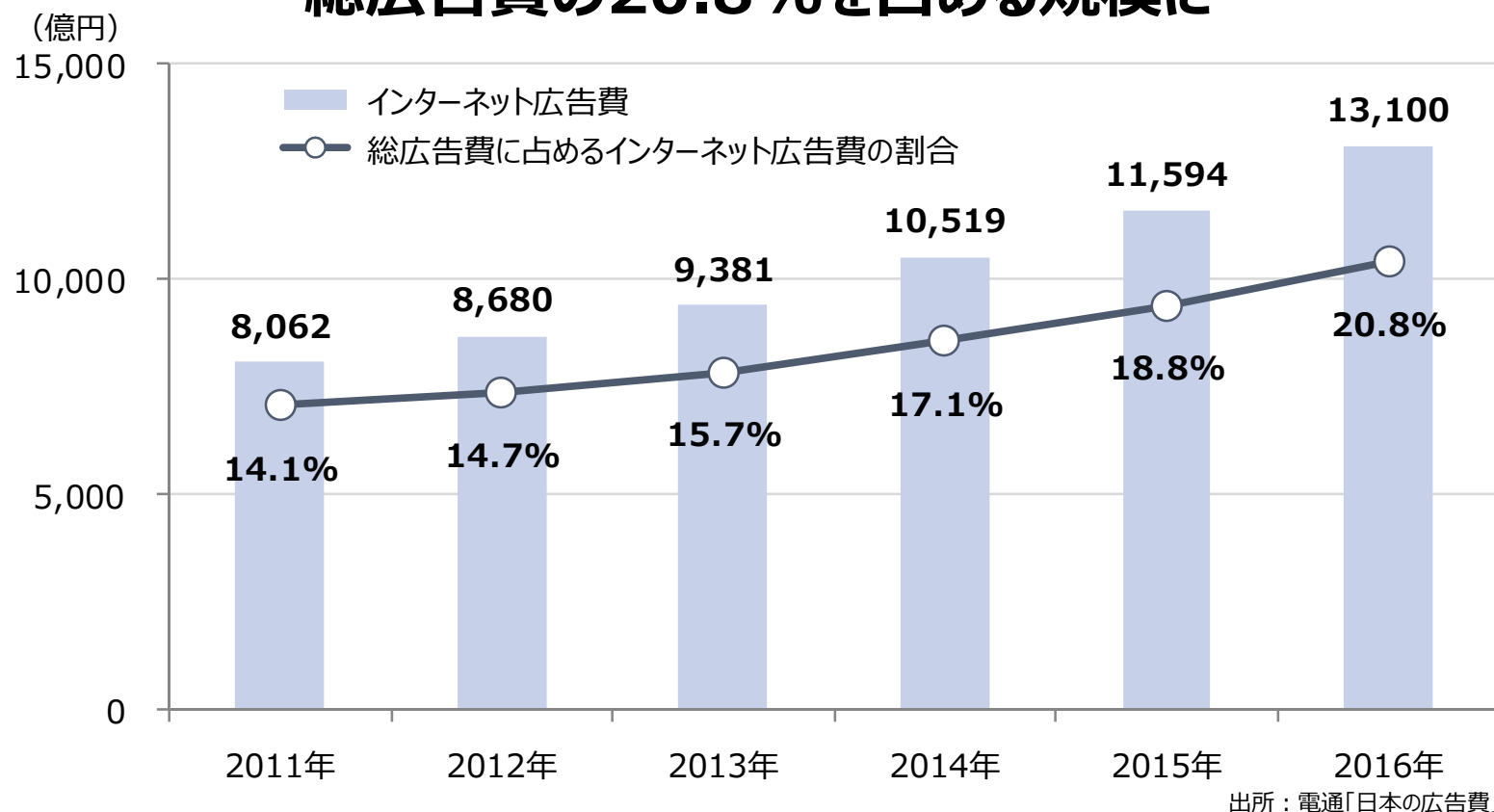


# DAC設立時からの営業利益推移



## インターネット広告市場概況

インターネット広告費は1兆3,100億円となり、  
総広告費の20.8%を占める規模に

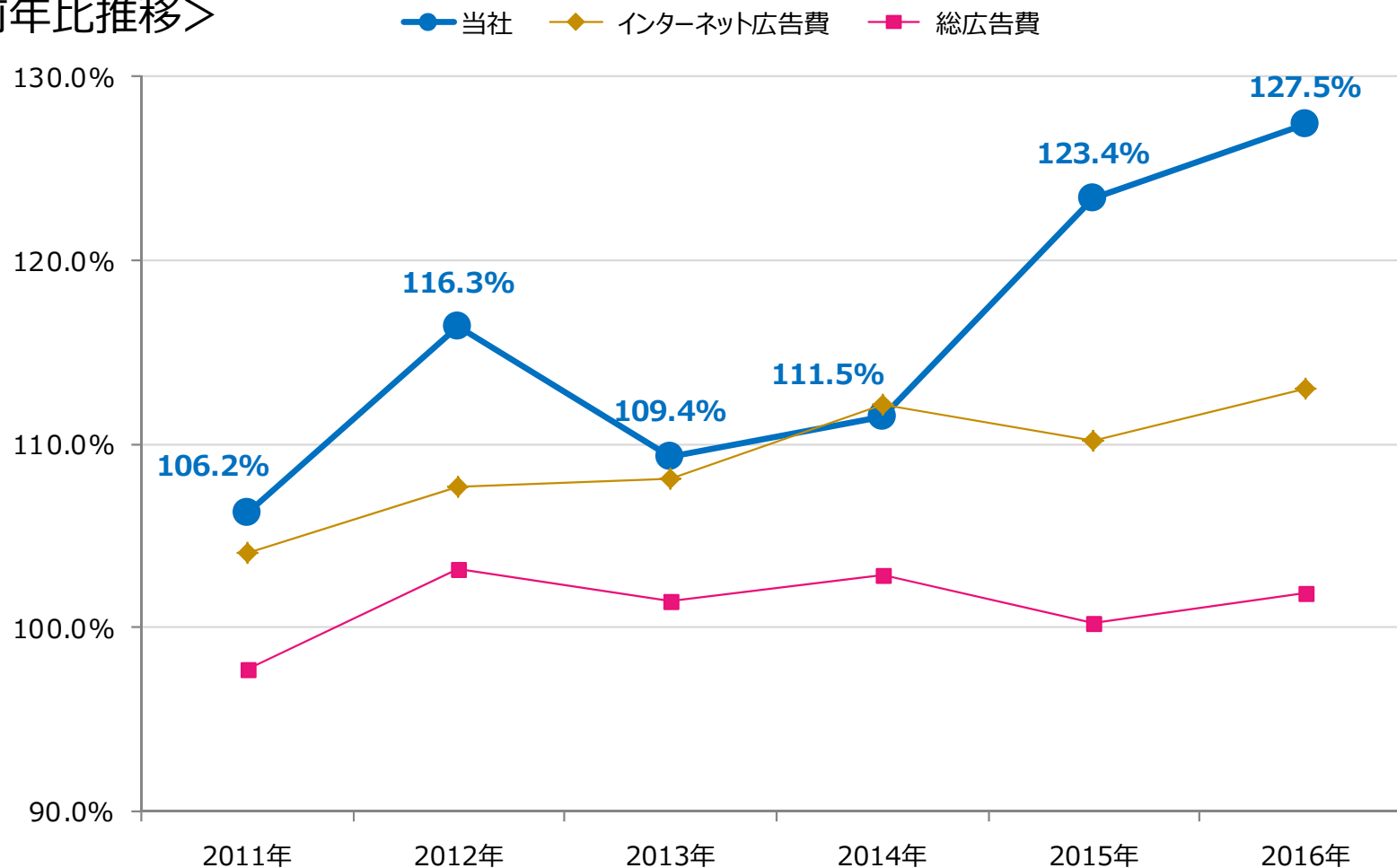


あらゆるメディアのデジタル化により、  
DACHDグループのビジネス範囲は広告市場全体へ

## 市場成長との比較

# 当社成長率は市場成長を上回って推移

<前年比推移>



出所：電通「日本の広告費」

### 技術

AI、IoT等技術革新の加速化とデータ利活用拡大  
デジタル・トランスフォーメーションの進展

### プレイヤー

グローバルプラットフォーマーの進化  
新規参入や合従連衡によるプレイヤーの変化

### 市場

市場構造は激変しつつ、ニケタ成長を継続

# 1 効率化によるシナジー効果

## ■ 単年度

- 上場コスト、統合に係る弁護士費用/FA費用分は前年度比削減
- 人員は採用継続
- 事務所の再構成、引っ越し等に係る費用は一時的に増加

## ■ 長期的効果

- 売上拡大に伴い、人員数は増加。ただし販管費率抑制を目指す
- ニアショア/オフショアを活用したローコストオペレーションの徹底
- システム代替による生産性向上
- オフィス統合による効率化



## 2 既存領域の競争力強化

- パートナー事業（DAC）と クライアント事業（アイレップ）のスキルセットを再構成し、各事業分野を明確化

### パートナー事業



#### 各注力分野で組織を再編し対応強化

- ブランドマーケティング対応体制構築
- ソリューションサービス体制の集約・最適化
- 運用体制の整備による競争力強化
- グローバルプラットフォームへの対応強化

### クライアント事業



#### 収益性向上へ向けた取り組み

- クライアント向き合いのエージェンシー事業に特化
- サービス/プロダクトの充実化による顧客対応力強化
- ニアショア/オフショア活用、業務効率化による生産性向上

### 3 成長分野への投資

#### ■ データドリブンマーケティング

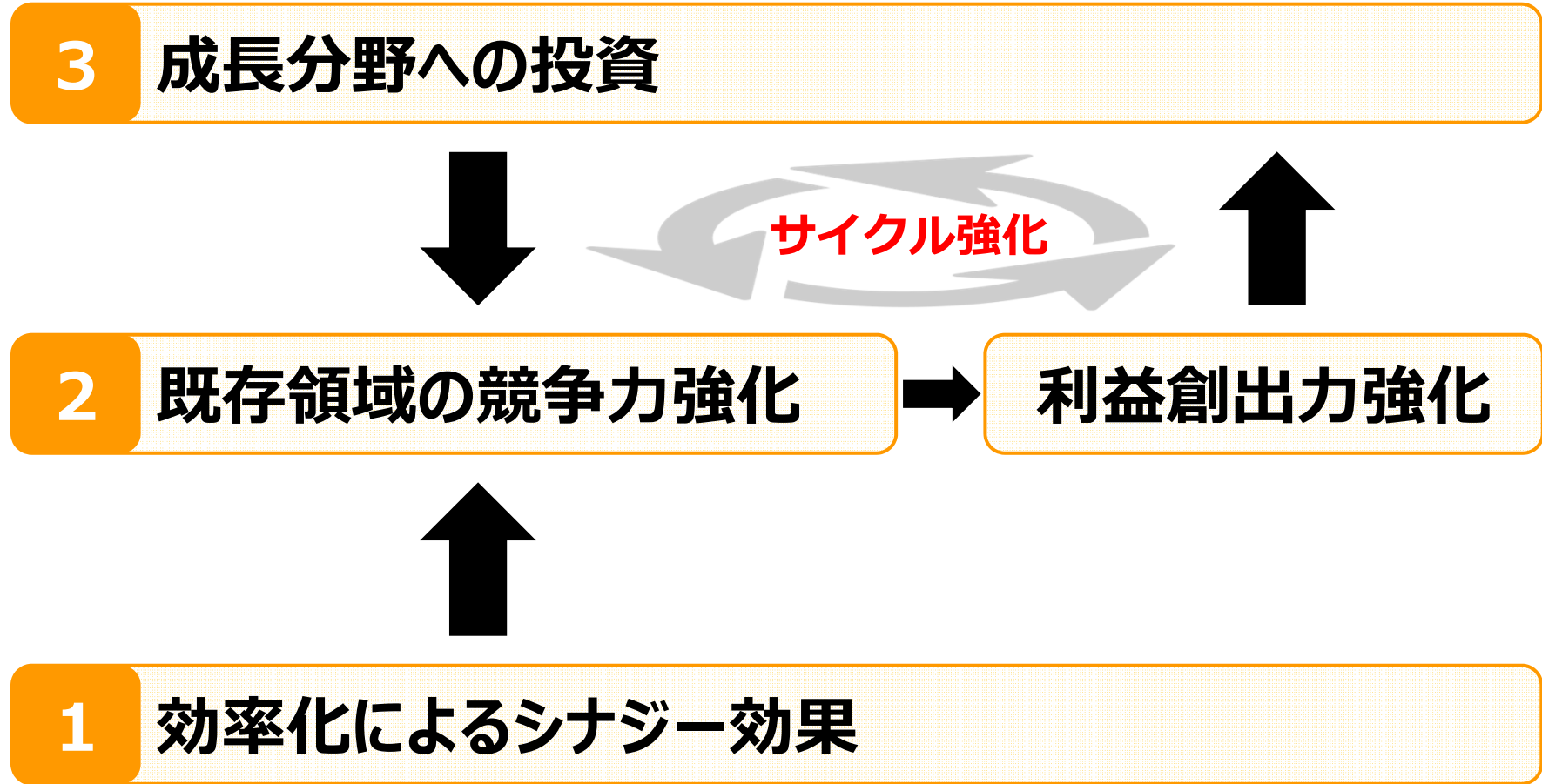
- 優良なデータホルダーとの連携強化等、データ利活用の更なる促進

#### ■ コンテンツマーケティング

- デジタルブランディングに特化した専門組織『**ブランドマーケティング本部**』をDAC内に設立

#### ■ グローバル

- 中国、インドネシア、タイを重点地域と定め、**DAC／アイレップ共同のグローバル対応チーム**を組成



# ご参考

---








## D.A.コンソーシアムホールディングス会社概要

商号	D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 英文社名：D.A.Consortium Holdings Inc.
設立	2016年10月3日
資本金	4,000百万円
所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
上場市場	東京証券取引所第二部（証券コード：6534）
発行済株式総数	71,481,422株
役職員数	2,456人（連結）
事業内容	インターネット広告ビジネスを運営する子会社等の経営管理およびこれらに附帯又は関連する一切の事業

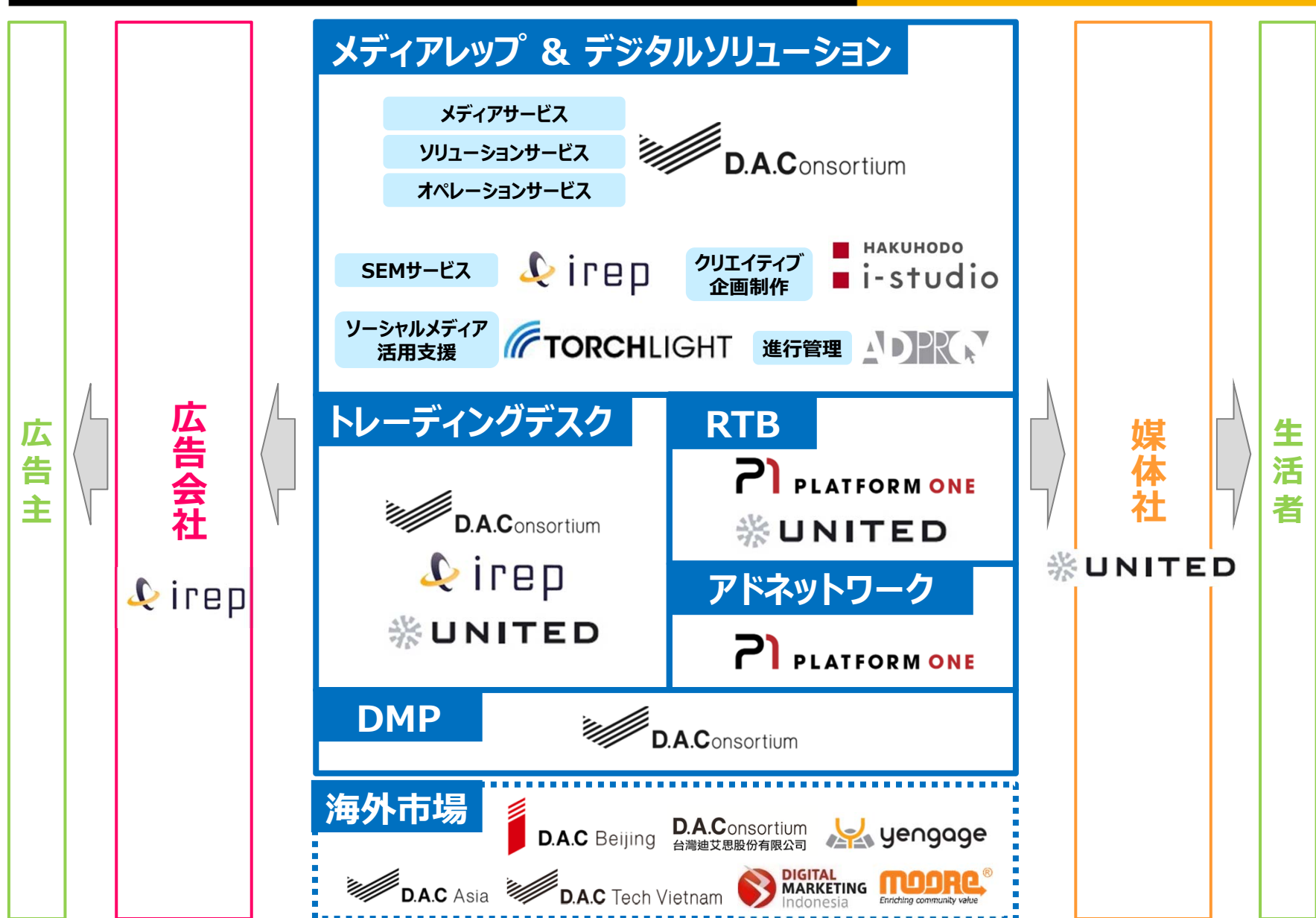
# DACグループ | 主要連結子会社

社名	議決権比率 (間接保有含む)	事業内容
 UNITED ユナイテッド(株) <small>東証マザーズ</small>	44.4%	スマートフォンアプリ事業およびアドテック事業
 HAKUHODO i-studio (株)博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における企画制作、システム開発、CRM事業
 PLATFORM ONE (株)プラットフォーム・ワン	100.0%	インターネット広告取引のプラットフォームサービスの提供
 ADPRO (株)アド・プロ	65.8%	インターネット広告におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理業務の提供
 TORCHLIGHT (株)トーチャイト	70.0%	オウンドメディアと広告を中心としたソーシャルメディア活用支援サービスの提供
 D.A.C Beijing 北京迪愛慈广告有限公司	51.1%	中国におけるインターネット広告事業
<b>台湾DAC</b> 台湾迪愛思股份有限公司	100.0%	台湾におけるインターネット広告事業
 D.A.C Asia DAC ASIA PTE. LTD.	51.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
 i-dac I-DAC PTE. LTD.	80.0%	東南アジア地域における、統合デジタルマーケティングソリューションなどの提供
 D.A.C Tech Vietnam DAC Tech Vietnam	60.9%	デジタルマーケティング領域における高い開発技術を用いたソフトウェア開発
 yengage Yengage Corporation	100.0%	米国におけるインターネット広告事業

## アイレップグループ | 主要連結子会社

社名	議決権 比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)レリバンシー・プラス	100.0%	運用型広告、SEO、コンテンツマーケティング、Web解析などのデジタルマーケティング事業
 (株)ロカリオ	100.0%	中堅・中小及び地方企業向けデジタルマーケティングサービス
 (株)シンクス	51.0%	運用型広告事業
 (株)NEWSY	91.2%	ニュース配信サイト「しらべえ」運営事業
 PT.DIGITAL MARKETING INDONESIA	85.0%	インドネシアにおける運用型広告事業
 北京艾睿普广告有限公司	100.0%	中国における運用型広告事業
 MOORE ONLINE DEVELOPMENT SOLUTIONS CORPORATION	53.2%	ベトナムにおける運用型広告事業

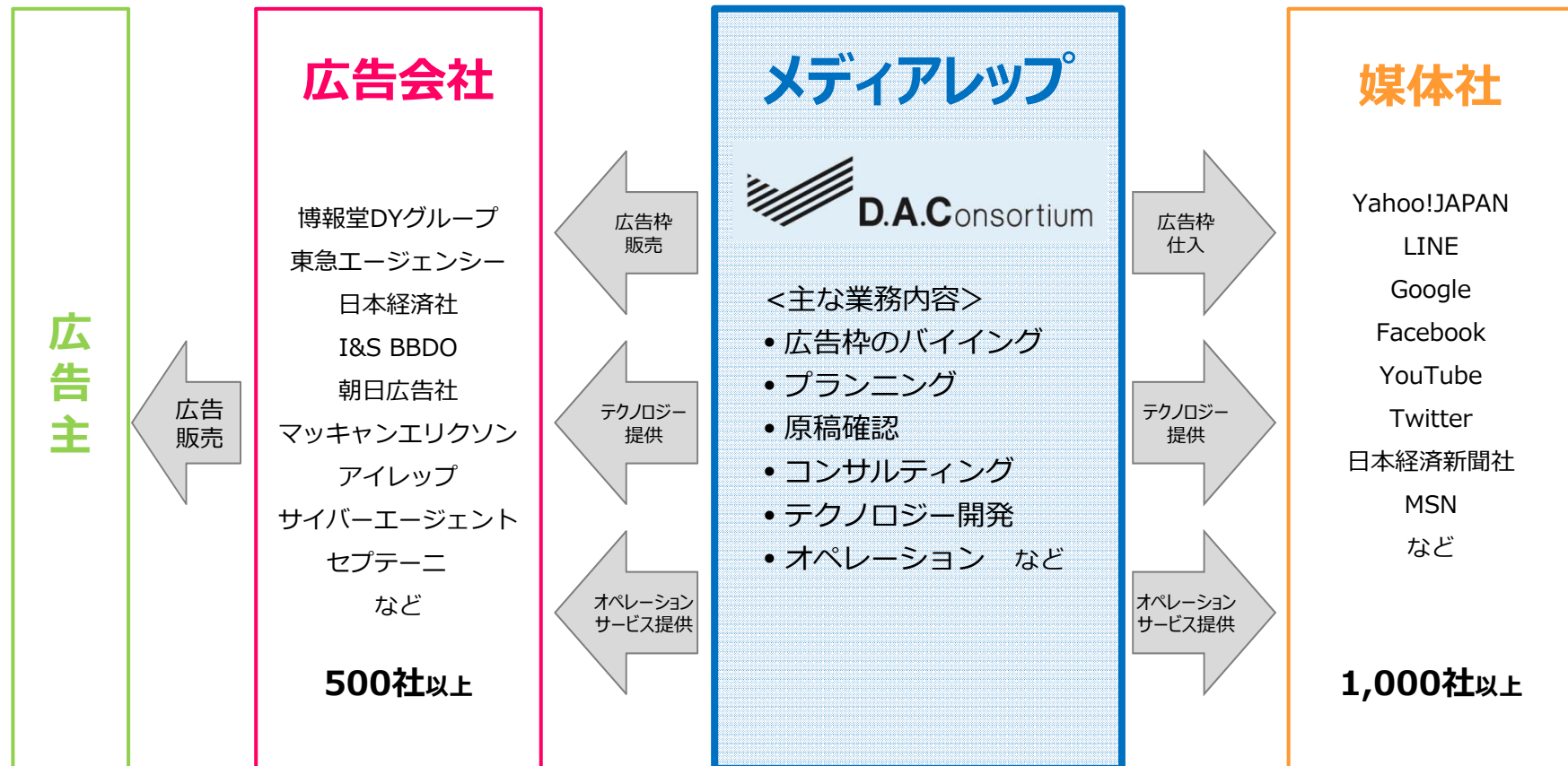
# D.A.コンソーシアムホールディングスのビジネスマップ



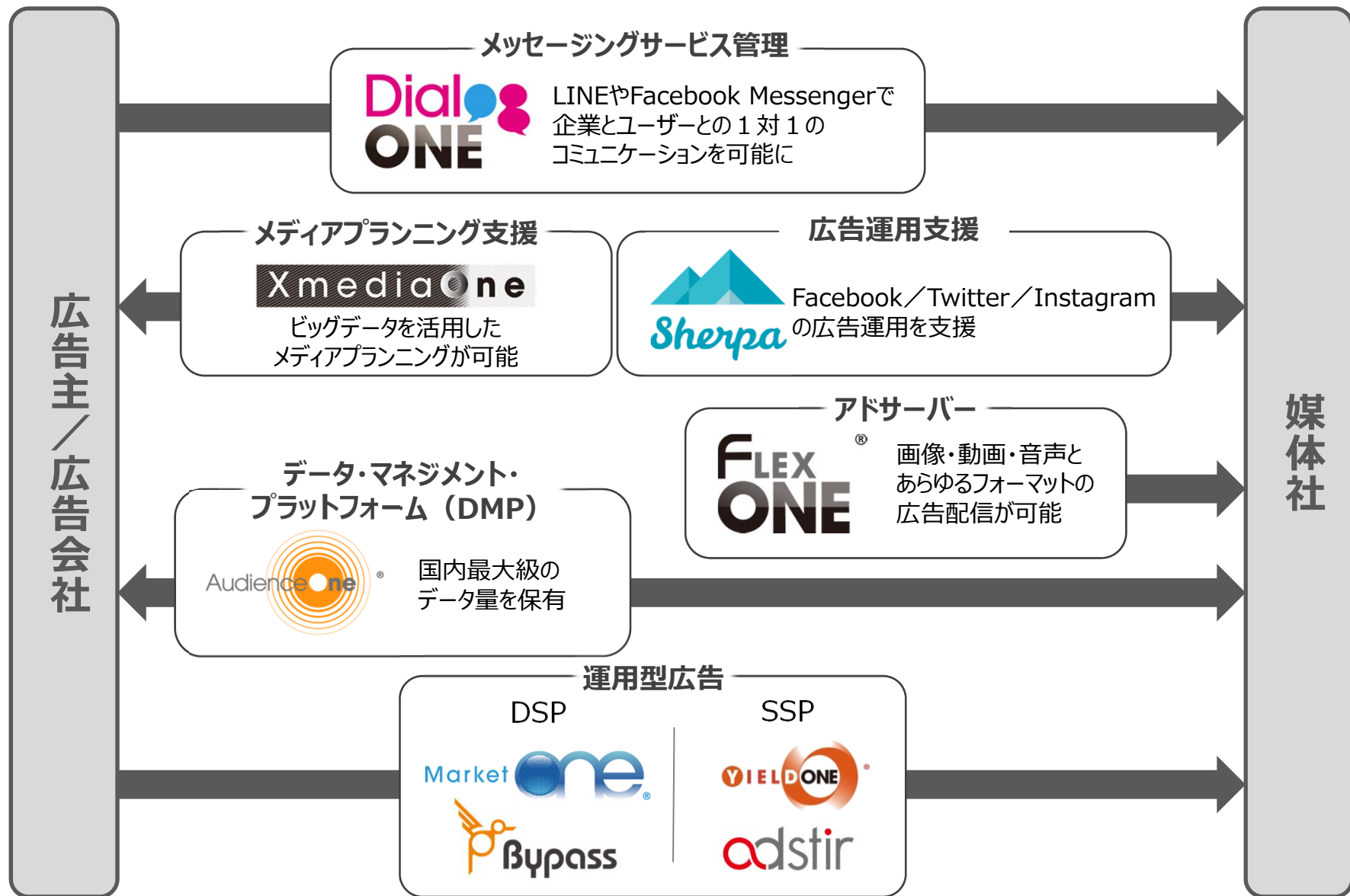


# DACの主力事業「メディアレップ」とは

インターネット広告の「メディアレップ」として、  
媒体社と広告会社の間であらゆるサービスを提供



# DACグループの主なアドテクノロジーラインナップ



# Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。



### “The Axel”

この「ジ・アクセル」と呼ぶロゴマークは、ブランドスローガン「Empowering the digital future」の言葉に込められた精神、つまりデジタル社会の未来に次々と活力を与え、切り開いていく志を示すものです。

## 本資料のご利用にあたって

---

本資料は、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社の事業及び業界動向についてのD.A.コンソーシアムホールディングス株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年5月11日現在において利用可能な情報に基づいて、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社により2017年5月11日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、事業に関する詳細の数値につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。